

令和7年度 第5回 老人施設部会 常任委員会

日時：令和7年9月24日（水）15：30～17：00

会場：大阪社会福祉指導センター ホランティアホール

□開会あいさつ

1. 大阪府に対するご質問・ご意見等

- ・事前質問はございませんでした。
- ・「令和7年度大阪府の施策に対する提案と予算に関する要望書に対する大阪府からのコメント、方針等」について

資料 1

2. 部会活動の取り組みについて

資料 2

- (1) 老人施設部会（分科会）令和7年度調査事業の予定について
- (2) 研修事業について
 - ・「施設見学・意見交換会」の開催予定、その他研修会（2点）。
- (3) 令和7年度 社会貢献事業推進委員会の取り組み
 - ・保育部会・大阪府との意見交換会。優秀実践アワード（きらっと光る実践）など
- (4) 令和7年度「福祉介護人材対策プロジェクト」の取り組み状況について
 - ・「高齢者福祉実践・研究大会 2025 in OSAKA」発表者募集など
- (5) 大阪府看護協会（ナースセンター大阪事業所）との連携について

3. 「大阪しあわせネットワーク」事業進捗について

資料 3

4. 各分科会等の取り組みについて

特養・養護・軽費・在宅・社貢献・各ブロック（豊能、三島、北河内、中河内、南河内、泉州、堺市、大阪市）・各種委員会（次世代育成、制度提言、研修、災害対策）・人材プロジェクト・近老協・全国老施協等

- ・【特養分科会】ブロック別の取り組み状況
- ・【養護分科会】11/13 演芸大会「みんな元気で楽生祭!!」@ファインプラザ大阪
- ・【軽費分科会】9/9 軽費・ケアハウスセミナー @たかつガーデン
- ・【在宅分科会】9/16 山本 かなえ 氏（元参議院議員/元厚生労働副大臣）との意見交換会
- ・【災害対策委員会】11/7 災害 BCP 見直し研修会 @たかつガーデン
- ・【近 老 協】10/3 AI ツール活用実践セミナー @OMM
10/24 養護老人ホーム実践報告会 @たかつガーデン

資料 4

5. その他

- ・厚労省「ハローワークの機能強化等における介護施設・事業所支援事業」に次の施設を推薦した・・・藤井寺特別養護老人ホーム、ナーシングホーム智鳥、くつろぎ・つるみ荘、高槻けやきの郷、アイリス

6. その他配付資料（関係団体からの情報提供／参考資料）

- ・令和7年度近畿ブロック地域包括・在宅介護支援センター協議会 京都セミナー（11/19）
- ・第4回全国老人福祉施設大会・研究会議～JS フェスティバル in 山口（12/4～12/5）
- ・高齢者施設ケアマネジメント研修（11/21・11/28）
- ・吹田地区特別養護老人ホーム連絡協議会 実践報告会（11/22）

参考 1

参考 2

参考 3

参考 4

7. 今後のスケジュールについて

- 9/25 (木) ～26 (金) 介護福祉士ファーストステップ研修 (5～6 日目) @大阪自彊館
9/29 (月) 福祉介護人材対策プロジェクト @永寿園とよなか
10/3 (金) 近老協「高齢者施設向け生成 AI ツール活用実践セミナー」@OMM
10/9 (木) 特養分科会「高齢者施設における給食のありかたを考える勉強会」@オンライン
10/10 (金) 養護分科会「施設長対象 施設見学・意見交換会」@平沼寮 (奈良県)
10/15 (水) 堺市ブロック会議 @堺市総合福祉会館
10/17 (金) 軽費分科会「施設見学・意見交換会」@㈱あぶり 八尾都塚
10/17 (金) 中河内ブロック就職フェア @布施市民プラザ
10/21 (火) 特養分科会運営委員会 @大阪社会福祉指導センター
10/22 (水) 在宅分科会「施設見学・意見交換会」@八尾隣保館 サポートやお
10/24 (金) 近老協「養護老人ホーム職員研修会 (実践報告会)」@たかつガーデン
10/27 (月) 福祉介護人材対策プロジェクト @きんもくせい
10/28 (火) 社会貢献事業推進委員会 視察研修・会議 @とりかい白鷺園
10/29 (水) ～30 (木) 介護福祉士ファーストステップ研修 (7～8 日目) @大阪自彊館
11/5 (水) 大橋先生との意見交換会 @プリムローズ大阪
11/6 (木) 北河内ブロック「施設見学・意見交換会」@雨塚らくらく苑
11/7 (金) 災害 BCP 見直し研修会 @たかつガーデン
11/13 (木) 養護分科会 演芸大会「みんな元気で楽生祭!!」@ファインプラザ大阪
11/14 (金) 軽費分科会運営委員会 @大阪府社会福祉会館
11/18 (火) 在宅分科会運営委員会 @大阪社会福祉指導センター
11/19 (水) 近畿ブロック地域包括・在宅介護支援センター協議会 京都セミナー @京都市内
11/20 (木) 介護福祉士ファーストステップ研修 (9 日目) @大阪自彊館
11/23 (日) 民間共済会体育祭 @パナソニックアリーナ
11/25 (火) 正副・常任委員会 @大阪社会福祉指導センター
11/26 (水) 大阪府社会福祉大会 @大阪国際交流センター
11/27 (木) 福祉介護人材対策プロジェクト @浜特別養護老人ホーム
11/28 (金) 日本福祉施設士会 第 34 回近畿ブロックセミナー (滋賀大会) @ピアザ淡海
12/1 (月) 全国老協ブロック会議 @オンライン
★令和 8 年 3 月 3 日 (火) 高齢者福祉実践・研究大会 2025 in OSAKA @I-site なんば

(令和 7 年度 常任委員会の開催予定)

- | |
|---|
| ⑥令和 7 年 11 月 25 日 (火) 15 時 30 分～ @大阪社会福祉指導センター |
| ⑦令和 7 年 12 月 24 日 (水) 15 時 30 分～ @大阪社会福祉指導センター
(+17 時 30 分～ 忘年会??) |
| ⑧令和 8 年 1 月 27 日 (火) 15 時 30 分～ @大阪社会福祉指導センター |
| ⑨令和 8 年 2 月 24 日 (火) 15 時 30 分～ @大阪社会福祉指導センター |

令和7年9月24日
老人施設部会事務局

老人施設部会（分科会） 令和7年度の調査事業について（予定）

●調査目的・実施時期等

実施時期	調査名	調査の内容・目的	該当分科会
4/14～6/13 終了	「看護師・准看護師の施設見学会の受け入れ」アンケート調査 (回答 70 件→62 受入 OK)	大阪府看護協会からの依頼にもとづき、「看護師・准看護師の施設見学会の受け入れ」に関する意向調査を実施する。 →ナースセンターへ提供する。	特養分科会
4/17～5/30 5月 (整理中)	支弁額等の改定状況について	会員施設に対し、下記3点の改定状況を調査。 ①R6.4～R6.5の処遇改善 6,000円 ②R6.4より順次（処遇改善分 1.16%上乗せなど） ③積極的に対応（事務費や生活費の改定）	養護分科会
7/1～8/1 7月 (終了)	特養における介護テクノロジー導入状況調査 →回答数 104 施設 (29.3%)	会員施設において導入（予定を含む）している介護テクノロジー（介護ロボット・ICT）に関し、「推奨度合」や「アドバイス」など、実情を具体的にお伺いするための調査を実施。	特養分科会
7/1～8/1 7月 (終了)	特養における外国人介護人材雇用状況調査 →回答数 104 施設 (29.3%)	会員施設における、外国人介護人材の雇用状況の実態を把握する調査を実施 →会員施設へのフィードバック。事業企画の参考とする。	特養分科会
8/1～9/12 8月 (終了)	特養経営実態調査 →回答数 121 施設 (34.1%)	令和5年度と令和6年度の収支状況を比較するとともに、物価高騰等に対する影響を把握し、会員施設事業の参考にさせていただくため。	特養分科会
8/1～9/12 8月 (終了)	在宅サービス収支状況比較調査 →回答数 83 施設 (34.6%)	令和5年度と令和6年度の収支状況を比較するとともに、物価高騰に対する影響を把握し、会員施設事業の参考にさせていただくため。	在宅分科会
○月	居宅介護支援事業所、ケアマネジャーに関する調査 (案)	喫緊の課題である、ケアマネジャーを取り巻く環境についての調査を行う（検討） →要望活動や事業企画の参考とする。	在宅分科会
○月	地域包括支援センターにおける市町村のローカルルール の調査（案）	地域包括支援センターの運営上の課題である市町村ごとのローカルルールについて調査を行い、今後の要望活動の参考とする。	在宅分科会
7/4～9/5 8月 (調査中)	経営努力・運営改善等実態調査	会員施設における、水光熱費や給食、宿直、勤務シフト等の運営状況を調査する。 →会員施設へフィードバックし、運営の参考にさせていただく。	軽費分科会

特養における介護テクノロジー導入状況調査(中間暫定集計)

2025/8/14時点

❖ 調査基本項目

(1)照会先塩設数	355
(2)回答施設数	98
(3)回答率	27.6%

≪ 1. 生産性向上推進体制加算 ≫ (施設数)

算定Ⅰ	7	算定Ⅱ	40	算定無	51	算定有の割合:	48.0%
-----	---	-----	----	-----	----	---------	-------

≪ 2. カテゴリ別導入状況 ≫ (施設数)

		導入有	(%)	導入無	今後検討	未定
1	移乗支援(装着)	6	6.1%	65	1	7
2	移乗支援(非装着)	33	33.7%	33	13	4
3	移動支援(屋内)	8	8.2%	60	6	6
4	移動支援(装着)	0	0.0%	70	1	7
5	排泄支援(排泄物処理)	0	0.0%	70	0	8
6	排泄支援(排泄予測・検知)	2	2.0%	64	5	7
7	排泄支援(動作支援)	1	1.0%	67	2	8
8	見守り・コミュニケーション(施設)	49	50.0%	14	25	4
9	見守り・コミュニケーション(コミュニケーション)	7	7.1%	57	10	5
10	入浴支援	23	23.5%	42	6	8
11	介護業務支援	40	40.8%	28	13	3

≪ 3. 製品の紹介数 ≫

	製品記載した施設数	記載のあった製品数
○カテゴリ製品	70 施設	148 品目
○カテゴリ以外の製品	10 施設	11 品目

≪ 4. 個別に情報提供を希望する施設への紹介の可否 ≫

情報提供してもよい	20 施設
情報提供しない	23 施設

特養における外国人介護人材雇用状況調査(中間暫定集計)

2025/8/14時点

◆調査基本項目

(1)照会先施設数	355
(2)回答施設数	98
(3)回答率	27.6%

≪1. 外国人介護人材の雇用の有無等≫

雇用している	86 施設	87.8%	雇用していない	12 施設	12.2%
--------	-------	-------	---------	-------	-------

○雇用していない場合の検討等状況

検討中	9 施設	進行中又は入国待ち	1 施設	雇用を考えていない	2 施設
-----	------	-----------	------	-----------	------

≪2. 外国人介護人材雇用を始めた年≫

2016以前	7 施設	2017-2019	24 施設	2020-2022	32 施設	2023-2025	21 施設	不明	2
--------	------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------	----	---

≪3. 外国人介護人材雇用人数≫ (人数)

国籍	EPA	技能実習	特定技能	留学生	介護	その他(家族)	合計	割合
インドネシア	13	2	54	0	8	12	89	15.6%
ベトナム	19	18	47	38	83	3	208	36.4%
フィリピン	15	9	43	16	25	18	126	22.1%
ミャンマー	0	15	34	7	4	0	60	10.5%
ネパール	0	12	6	40	9	2	69	12.1%
中国	0	1	3	3	2	0	9	1.6%
ウズベキスタン	0	0	0	0	1	0	1	0.2%
韓国	0	0	0	0	0	1	1	0.2%
バングラディシュ	0	0	0	0	1	0	1	0.2%
スリランカ	0	0	0	2	0	0	2	0.4%
ブラジル	0	0	0	0	0	1	1	0.2%
マレーシア	0	0	4	0	0	0	4	0.7%
合計	47	57	191	106	133	37	571	100.0%
割合	8.2%	10.0%	33.5%	18.6%	23.3%	6.5%	100.0%	

《4. 雇用している外国人人材の平均在職期間》

(1)期間別(該当施設数)

6か月未満	10	6か月以上1年未満	10	1年以上2年未満	19
		2年以上3年未満	24	3年以上4年未満	11
		4年以上5年未満	0	5年以上	5

(2)最低・最高・中央値(月数)

最低値(月数)	1	最高値(月数)	78	中央値(月数)	19
---------	---	---------	----	---------	----

《5. 外国人介護人材の雇用数・率》

○ 雇用数(人数)

最低値	1	最高値	25	中央値	5
-----	---	-----	----	-----	---

○ 雇用率(該当施設数)

5%未満	9	5%以上10%未満	14	10%以上20%未満	20
20%以上30%未満	16	30%以上40%未満	10	40%以上50%未満	5
50%以上	6				
最低値	1.40%	最高値	67.40%	中央値	12.80%

令和 7 年 9 月 24 日
老人施設部会事務局

令和 7 年度 老人施設部会「施設見学・意見交換会」の開催予定

主催	ブロック	開催概要
特養 分科会	三 島	* 会場を検討中
	豊 能	* 日程調整中 @アリス佐竹台
	北河内	11 月 6 日（木）13：30～16：00 @雨塚らくらく苑
	中河内	* 調整予定 @（福）由寿会
	南河内	* 日程調整中 @くみのき苑さらさ
	泉 州	9 月 3 日（水）14：20～16：00 @泉ヶ丘園りんくう
	堺 市	7 月 7 日（月）13：30～16：00 @槇塚荘
在宅 分科会	（中河内）	10 月 22 日（水）14：30～17：30 @サポートやお（八尾隣保館）
	（大阪市）	* 会場を検討中
軽費 分科会	（中河内）	10 月 17 日（金）13：30～16：30 @あぷり八尾都塚（株あぷり）
養護 分科会	（奈良県）	10 月 10 日（金）13：00～15：30 @平沼寮（大和高田市）施設長対象
	（豊 能）	令和 8 年 2 月 13：30～16：00 @ゆずの郷 相談員・支援員対象
社会貢献事業推進委員会		10 月 28 日（火）11：00～15：00 @とりかい白鷺園
福祉介護人材対策 プロジェクト		介護の生産性向上「施設見学・意見交換会」（吹田市） 9 月 9 日（火）10：00～16：30 @いのこの里／あす～る吹田 * 11 月 27 日（木）と令和 8 年 1 月 26 日（月）に効果検証会を開催。

※大阪市ブロックは各種研修が予定済みのため、企画検討を保留。

老人施設部会 特養分科会

「高齢者施設における給食のありかたを考える勉強会（オンライン）」 の開催について

大阪府社会福祉協議会 老人施設部会

老人施設部会長 西島 善久

特養分科会長 辻 晋弥

日頃から、本会事業の推進に格別のご協力を賜り深謝申し上げます。

さて、会員施設においては、入居者に対する「食事」について、様々な工夫や独自の取り組みをなされておりますが、人件費や物価の高騰などから、直営での従来の調理法（クックサーブ）や、外部委託の価格維持が困難な状況になりつつあり、入居者への食事・給食提供の質の低下が懸念されています。

このような状況のなか、「完全調理済み食品（完調品）」と呼ばれる、「クックチル（冷蔵）」や「クックフリーズ（冷凍）」などを活用し、食事内容のメリハリや、職員体制の見直し、品質の維持、外部委託の継続に取り組み、さらに価格の低減を実現しているケースもございます。

そこで、給食事業全体のトレンドや、実際に外部委託業者の契約変更、完調品を導入している実践事例をお聞きし、導入にいたる背景や、検討過程、導入後の成果や効果等を学ぶことで、今後の事業運営に向けた取り組みに役立ていただくことを目的として、標記勉強会を開催することとなりました。

つきましては、ご多忙とは存じますが、ぜひご参加をいただきますようお願いさせていただきます。なお、本勉強会は、オンライン（ZOOM）で開催いたします。

1. 日 時 令和7年10月9日（木） 14：00～16：00
2. 方 法 オンライン（Zoom）開催
3. 対 象 特養分科会 会員施設の施設長や生活相談員、栄養士など
4. 定 員 50名（※先着順／定員に達した場合のみご連絡します）
5. 参加費 無料
6. 申込み 本Webサイトの「お申込」欄に必要事項をご記入のうえ、お申込みください。
7. 締 切 令和7年10月3日（金）

※Zoom参加に必要なURLや配付資料は、勉強会の2日前を目安にメールにてご連絡いたします。

8. プログラム

時 間	内 容
14：00～	○オリエンテーション
14：05～	○講演 「給食事業の動向と完全調理済み食品（完調品）導入におけるポイントについて」 株式会社日本給食業経営総合研究所 経営コンサルタント 大野 紗矢佳 氏

14：30～	○実践事例の報告（各 15 分） ・完全調理済み食品の導入や外部委託の工夫を行っている施設・協力企業による報告。導入に至る背景や検討過程、効果・成果の具体的な内容を紹介。 1. <u>（福）桃林会 とりかい白鷺園</u> 【外部委託】 協力企業：日清医療食品(株) 2. <u>（福）山麓会 清滝らくらく苑</u> 【直営】 協力企業：アイサービス(株)「らくらく御膳」 クックフリーズ（冷凍） 3. <u>（福）豊中ファミリー アリス佐竹台</u> 【直営】 協力企業：(株)ナリコマホールディングス ニュークックチル（冷蔵）
15：15～	○質疑応答（10分）
15：25～	○休 憩（10分）
15：35～	○参加者同士の意見交換（ブレイクアウトルーム又は参加者全体） 感想の共有。自施設の現状や課題等について意見交換。
16：00	○閉 会

※進行次第では、スケジュールに変更を生じる場合がございます。あらかじめご了承ください。

※参加者同士の意見交換は、協議が終わり次第終了とします（最長16：00まで）。

お申込み

申込種別	残数	お申込
特養分科会「高齢者施設における給食のありかたを考える勉強会」	20件	申込 (/ticket/16938/order)

主催者情報

主催者名 大阪府社会福祉協議会 老人施設部会 事務局
担当者 青木、渡邊
連絡先（TEL） 06-6762-9001
連絡先（メール） sakurasou@a-kaigo.gr.jp (mailto:sakurasou@a-kaigo.gr.jp)

文書管理：大社福施発第416号 令和7年9月5日

会場情報

会場名 オンライン研修

令和7年度 老人施設部会「次世代管理職研修修了者」フォロー研修（集合開催）

～強いチームはなぜ心理的安全性を大事にするのか ― 組織論で読み解く管理職の新マネジメント～

社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会

老人施設部会長 西島 善久

研修委員長 山本 智光

日頃から、本会事業の推進に格別のご協力を賜り深謝申し上げます。

さて、近年、心理的安全性は組織論やマネジメントの分野で注目を集めています。

チームが安心して意見を出し、挑戦し、失敗から学ぶことができる環境は、成果や人材定着に直結することが明らかになっています。しかし一方で、心理的安全性の導入は「大事なことは分ったが、実際にはどうすればつくれるのか分からない」「自分の職場で実践するにはハードルが高い」と感じる管理職の声も多く聞かれます。

そこで本研修では、単なるトレンド情報としての心理的安全性にとどまらず、なぜ心理的安全性が必要なのか、その本質とは何か、そして実際にどのようにチームに根付かせるかを整理し、自分たちの職場に置き換え、具体的に考える機会を持ちたいと思います。

つきましては、ご多忙とは存じますが、ぜひ当研修会にご参加をいただきますようご案内させていただきます。

記

1 日 時 令和7年12月17日（水）13：30～17：00

※懇親会 17：15～19：15（会費：5,000円（税込）程度※参加任意）

2 会 場 大阪社会福祉指導センター 4階 研修室3（大阪市中央区中寺1-1-54）

3 定 員 30名 ※定員に達ししだい締め切ります

4 対 象 主に令和2年度～令和6年度の次世代管理職研修を修了された方々

5 参加費 会員施設：2,000円／名 非会員施設：3,000円／名

※随時、受講決定通知・請求書をメールにてお送りいたします。

6 申 込 本Webサイトの「お申込」から、11月26日（水）までにお申し込みください。

7 内 容

- ・なぜ今「心理的安全性」が必要なのか ― 組織論から見た良いチームの条件
- ・心理的安全性が成果を生む仕組み ― 単なる“やさしい職場”ではない真の効果
- ・管理職がつくる心理的安全性とリーダーシップ ― 日常の関わり方とマネジメントの落とし穴
- ・グループワーク：自組織の“心理的安全性”を振り返り、明日からのアクションを考える

8 このような方にお勧め

- ・チームの成果や人材定着に課題を感じている管理職
- ・心理的安全性を職場に導入したいが、方法が分からない管理職
- ・事業所間を超えた意見交換・情報共有を通じて学びたい方
- ・自分のマネジメントスタイルを振り返り、改善策を具体化したい方

9 講師紹介

◎渥美 崇史氏（株式会社ピュアテラックス 代表取締役）

静岡県浜松市生まれ。大学卒業後、新卒でヘルスケアへのコンサルティングを専門とした日本経営グループに入社。20代後半まで人事コンサルティングのキャリアを積み、その後、マネジメントスクールの新規事業を立ち上げ30,000人以上のマネジャーの成長を支援する事業に育てる。30代前半に「学習する組織」「U理論」をベースとした組織開発を始める。マネジャー、シニアマネジャーを経験し、35歳で独立。2018年、個と組織の成長・発達を支援する株式会社ピュアテラックスを設立。現在は、新しい時代に適応した組織マネジメント・リーダーシップへのシフト、ファミリービジネスの世代交代の支援に力を入れている。FBAAファミリービジネスアドバイザー資格認定証保持者。

10 事務局

大阪府社会福祉協議会 老人施設部会（担当：青木）

TEL) 06-6762-9001

お申込み

「次世代管理職研修修了者」フォロー研修（集合開催）

残数: 30件

申込 (/ticket/16574/order)

主催者情報

主催者名

大阪府社会福祉協議会 老人施設部会 事務局

担当者

青木

連絡先（TEL）

06-6762-9001

連絡先（メール）

sakurasou@a-kaigo.gr.jp (mailto:sakurasou@a-kaigo.gr.jp)

文書管理：大社福施発第●号 令和7年8月●日

会場情報

会場名

大阪社会福祉指導センター 4階 研修室3 (<http://www.osakafusyakyo.or.jp/access.html>)

会場連絡先

0667629001

会場住所

大阪市中央区中寺1-1-54

地図情報



([https://maps.google.com/maps?](https://maps.google.com/maps?q=34.671556600006,135.51564910001&hl=ja&z=17)

[q=34.671556600006,135.51564910001&hl=ja&z=17](https://maps.google.com/maps?q=34.671556600006,135.51564910001&hl=ja&z=17))

令和 7 年度 老人施設部会 社会貢献事業推進委員会の取り組み

●重点的な取り組み

テーマ	令和 7 年度		今後の対応
	取り組み項目	取り組み内容・進捗状況	
①地域公益事業の進展	A,「公益性のある仕事の開拓と展開」	・ 8/21「保育部会・大阪府地域福祉課との意見交換会」の開催。	終了
		・ 10/28「とりかい白鷺園の視察研修」の開催。	申込みを受付中
		・ 11/5「大橋先生との意見交換会」の開催。	申込みを受付中
	B,「居住支援×レスキュー事業」(継続)	・ 昨年度に引き続き、会員施設や不動産会社など、広く参加を呼び掛けて開催する（不動産会社から社会福祉法人へ期待することをお聞きする等）。	令和 8 年 1 月頃に開催（目標）
	C,「中間的就労の推進」(継続)	・ 8/21 意見交換会に大阪府担当者が参加。 ・ 名古屋市の状況調査（登録施設数？実績？拡充に向けた取り組み？）	
②社会貢献事業を積極的に推進している法人への評価	施設における地域貢献活動の推進と情報発信	①令和 6 年度「優秀実践アワード（きらっと光る実践）報告書」の制作。 →総会や 6/11 施設正副部会長会議で配付済み。Web サイトに掲載済み。	会員施設や市町村社協、大学等へ発送済み。
		②令和 7 年度「優秀実践アワード（きらっと光る実践）」の実施。 （他種別部会や大阪しあわせネットワーク全体への周知を図る）	8/1 案内開始→〆切 10/31 別添をご参照
		③令和 6 年度に実施した「取り組み状況見える化シート」の内容分析。	進め方は要検討。
③大阪しあわせネットワークの推進	A,体制以降の支援	・ 他種別や市町村社協をつなぐ。	
		・ 周知度や CSW の状況確認、体制以降に伴う「困りごと」をキャッチするために、会員施設を対象にアンケート調査を実施する（＝現状を把握する）。	課題のある市町村に対し、部会としてバックアップしていく（要検討）。
		・ 「大阪しあわせネットワーク実践セミナー」の企画提案。 10 周年記念として、全種別や市町村社協を対象にしたセミナーを開催する。	令和 8 年 2 月頃に開催（目標）
	B,特別部会費の見直し（検討）	・ まったなしの経営環境の変化（物価高騰等）のなか、大阪しあわせネットワーク全体の収支状況（今後の見込み含む）を踏まえて、議論していきたい。 →効果検証のチェック。3 年間の移行期間において議論を出していく。	部会の協議事項としてあげる。 効果検証の分析手法は要検討。

**令和7年度 大阪府社会福祉協議会 老人施設部会
社会貢献事業「優秀実践アワード（きらっと光る実践）」募集要項**

1 目 的

この表彰は、地域における公益的な取り組みに関して、継続性や独自性、先進性等についての優れた取り組みを行っている、大阪府社会福祉協議会 老人施設部会の会員施設（以下、「会員施設」という）を表彰することにより、その取り組みにスポットを当て内外に情報発信を行うことを通して、会員施設に波及させるとともに、地域課題の解決および地域福祉の振興、さらに社会的評価の向上、ひいては福祉・介護人材の確保に資することを目的とします。

2 表彰種別

優秀実践アワード（きらっと光る実践）「大賞」、「優秀賞」、「奨励賞」

地域課題の解決および地域福祉の振興、社会的評価の向上、福祉・介護人材の確保のため、“きらっと光る”地域における公益的な取り組みを実践している会員施設を表彰します。

【選定に当たっての着眼点】

- | | |
|---------|---|
| ① 継続性 | ・ 一過性の取組でなく、継続して行われている
・ 取組の内容の見直しが必要に応じ行われている |
| ② 独自性 | ・ あまり紹介されていない取組、先行事例に工夫を加えた取組である |
| ③ 先進性 | ・ 今後の地域を取り巻く環境を見据えた取組である |
| ④ 展開性 | ・ (あまり手を加えずとも) 他の事業所での実施が可能である |
| ⑤ 模範性 | ・ 他の会員施設での実施が望まれる取組である |
| ⑥ 協働性 | ・ 地域住民や関係機関・団体等と連携した取組である |
| ⑦ 地域貢献性 | ・ 個別あるいは地域課題の解決につながっている
・ 地域福祉の向上に寄与している |

3 対 象

(1) 推薦対象（自薦・他薦問わず）

- ・ 次のいずれにも該当する施設であること。

①大阪府社会福祉協議会 老人施設部会の会員施設

(特養分科会、養護分科会、軽費分科会、在宅分科会のいずれかに所属していること)

※法人あるいは施設として応募が可能です。また、施設連絡会としての応募も可とします。

※特別養護老人ホームや養護老人ホーム等に併設され、一体的に運営されている通所介護等の居宅サービスについては、「本体施設」に含めて表彰の対象とし、個別には表彰しません。

②令和6年度の特別部会費（社会貢献基金）を納入済みである

(2) 対象となる実践

- ・令和6年度の地域における公益的な取り組み（実践）であること。

（過去から継続されている取り組みも対象です）

※「地域における公益的な取り組み」の具体的な事例については、老人施設部会 社会貢献事業「取り組み状況見える化シート」の項目を参考にしてください。

https://www.a-kaigo.gr.jp/admin_wp/wp-content/uploads/2024/08/r6appear_sheet2.pdf

(例えば)

- ▶地域ニーズに応える多角化・多機能化などの事業展開
- ▶孤独・孤立などの新たな社会課題、地域生活課題への実践
- ▶地域でのソーシャルワーク機能の発揮
- ▶SDGs 経営、他産業や他分野と連携した地域づくり
- ▶地域共生社会を実現するための実践

4 応募期限

令和7年10月31日（金）まで（当日、到着分まで有効）。

5 応募方法

(1) 提出書類

- ①「社会貢献事業『優秀実践アワード（きらっと光る実践）』推薦書」
- ②推薦書の内容を補足する、取り組み（実践）の詳細が伝わりやすい、パワーポイント20スライド程度の資料（広報物や写真、その他参考となる資料が掲載されたもの）。

(2) 提出方法

- ・提出書類に必要事項を記入し、応募期限までに下記提出先へメールでお送りください。

※応募書類のデータ容量は、全てを合わせて、5MB 以内を目安とします。

（5MB を超える場合は、「ギガファイル便」等を用いてメール送信してください）

※書類を受理した旨のご返信をいたしますので、返信メールが届かない場合はお電話ください。

※表彰施設の実践事例集（報告書）に掲載する場合、別途、原稿の校正や写真等の提供を依頼する場合がございます。

(3) 提出先

大阪府社会福祉協議会 老人施設部会事務局（担当：青木）

TEL：06-6762-9001 / FAX：06-6768-2426

E-mail：sakurasou@a-kaigo.gr.jp

6 スケジュール（予定）

令和7年8月1日	正式な案内を開始（老人施設部会配信メール）。
同 10月31日	応募期限（必着）※期限を超えた場合は受付できません。
同 12月～2月初旬	書類審査（①入選を決定→選考委員会に提出）。
令和8年2月13日	選考委員会の開催（②表彰種別を選定）。
同 2月下旬	結果発表。
同 3月～4月	表彰施設の実践事例集（報告書）を制作。
同 5月頃	老人施設部会総会において表彰式。
同 6月以降	外部への情報発信（①報告書 ②入選施設一覧 ※仮称）。

7 選定方法

◆書類審査 選考委員会を構成する外部委員が、応募書類について「選定に当たっての着眼点」にもとづき内容を評価します。

なお、応募者が多数の場合は、老人施設部会 社会貢献事業推進委員会による一次選考（書類審査）を行う場合がございますので、あらかじめご了承ください。

◆選考委員会 書類審査を経た会員施設を対象に、老人施設部会が設置した「選考委員会」において選定のうえ、表彰施設を決定します。

※選考過程は公表いたしませんので、ご承知おきください。

（選考委員会の構成）

学識者	大阪総合保育大学短期大学部(大阪城南女子短期大学) 教授	前田 崇博 氏
有識者	エイデル研究所 常務取締役（京都支社 支社長）	小林 雄二郎 氏
関係機関・団体	国民生活産業・消費者団体連合会 事務局	小佐野 寛崇 氏
関係機関・団体	大阪府生活協同組合連合会 専務理事	中村 夏美 氏
関係機関・団体	社会福祉法人 大阪ボランティア協会 常務理事	永井 美佳 氏
社会福祉施設	社会福祉法人 京都福祉サービス協会 高齢者福祉施設 紫野 施設長／地域共生社会推進センター 代表	河本 歩美 氏

8 通知方法

選考の結果は、令和7年2月下旬頃にメールで通知します。

9 表 彰

令和8年5月頃に開催予定の「令和8年度老人施設部会総会」において、老人施設部会長名で表彰状を授与します。

10 その他

表彰された会員施設については、令和 8 年度老人施設部会総会の資料に掲載して紹介するとともに、Web サイト「さくら草ネット」において公表いたします。

また、表彰対象になった取り組み・具体的な実践については、老人施設部会発行の「報告書」への掲載や、入選した全ての法人あるいは施設を対象に「入選施設一覧（仮称）」の作成も検討いたしますので、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

11 お問い合わせ先

〒542-0065 大阪府中央区中寺 1-1-54 大阪社会福祉指導センター2 階

大阪府社会福祉協議会 老人施設部会事務局（担当：青木）

TEL：06－6762－9001 ／ FAX：06－6768－2426

E-mail：aoki.jun@osakafusyakyō.or.jp

老人福祉施設長・在宅事業所管理者 各位

社会福祉法人大阪府社会福祉協議会
老人施設部会長 西 島 善 久

「高齢者福祉実践・研究大会 2025 in OSAKA」発表者募集について

日頃から、本会事業の推進に格段のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

さて、物価高騰や人材不足などから厳しい施設運営を強いられている状況にあつて、多くの会員施設では、様々な工夫や改善、積極的な取り組みを展開されています。

今年度も、このような日ごろの福祉・介護の実践・研究を発表する場を設け、各施設の職員育成ならびに取り組みを共有し今後の事業運営に役立てていただくことを目的に、標記大会を開催いたします。

また、学生に対して福祉・介護の魅力を伝えるために、大会当日、学生に参画いただく取り組みや、就職活動における業界研究、志望先の検討材料として活用していただくことも狙いとしています。

つきましては、下記の内容をご理解のうえ、積極的にご参加いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

1. 日 程 令和 8 年 3 月 3 日（火）10 時～17 時（仮）
2. 開催会場 I-site なんば 2 階 （大阪市浪速区敷津東 2-1-41）
<https://www.omu.ac.jp/>
（※最寄駅：南海電鉄「なんば」駅、Osaka Metro「恵美須町」駅・「大国町」駅）
3. 開催方法 集合（対面）開催。後日アーカイブ配信 ※1。
4. 分科会数 3 つの分科会（同時進行）
5. 発表募集の概要

■発表対象：全ての会員施設・職種・関連ある学生

（入所施設、在宅部門、相談機関、介護職、相談職、看護職、セラピスト、栄養士、学生など）

■発表内容

○実践テーマ・研究テーマ：下記のキーワード（例）を参考に自由にご発表ください。

ケアの向上	介護予防	認知症ケア	看護・医療的ケア	看取り
社会貢献・地域貢献	人材確保	人材育成	人材定着	外国人 人材
職場環境整備	業務改善	介護テクノロジー（ロボット・ICT 活用）	SDGs	
多職種連携	ボランティア	防災・減災	感染症対応	リスクマネジメント

※上記テーマに限らず、施設で実践・研究されているテーマであれば、どのような発表でも構いません。

○発表者の構成

- ・施設職員による発表
- ・施設長・管理職による発表
- ・企業とのコラボ発表：施設職員と企業職員による合同発表（企業職員のための発表は NG）
- ・学生とのコラボ発表：施設職員と学生による合同発表（学生のための発表でも OK）
- ・学生による発表（コメンテーターの在籍校の学生が対象）

■発表方法：研修会場で、口述、パソコンの手元操作による発表。→「ジョブズスタイル」※2

■発表時間：10 分間（準備時間は含まない）

■分科会の構成

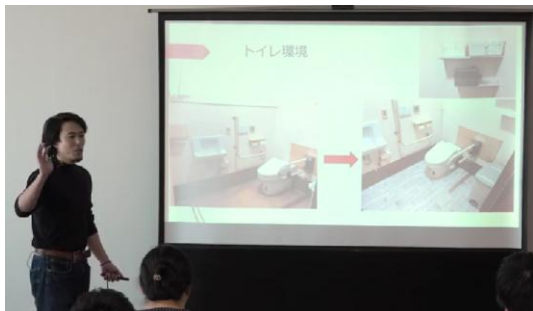
- ・発表者の構成は、発表内容を参考に、類似するテーマごとにまとめつつ、施設発表と学生発表が混在する形とします。
- ・学識者等のコメンテーター（2 名）から、発表に対する講評をいただきます。
- ・分科会あるいはセッションごとに、学生審査員による「学生賞（仮）」をもうける予定です。

※1 アーカイブ配信

- ・老人施設部会の Youtube チャンネルにおいて一般公開を行います。
なお、アーカイブ配信を「希望しない」ことも、受付いたします。
- ・原則、発表内容をそのまま動画として配信いたしますが、精査が必要と認められた場合に限り、部会が編集を行う場合がございます。

※2 「ジョブズスタイル」とは

- ・「人」を中心にした発表。躍動的な発信。ペーパーレス・台本は頭の中。衣装はスマートカジュアル。
- ・パワーポイントは、補足・強調をメインに、施設紹介はシンプルに。・・・主役はあなた



発表の舞台は、「I-site なんば」です。
マイク一つで、来場者とカメラの向こうの閲覧者に対し、自由に発表・プレゼンしてください。
(パソコン操作の協力者はOK)



※大学や専門学校等にも案内いたしますので個人情報や倫理的配慮等には十分にご留意ください(例 利用者が特定されない加工)。

※「研究」発表に関する留意点（「実践」発表は除く）

- ・研究発表の場合は、次の項目を資料作成の参考にしてください。ただし、当日の発表はジョブズスタイル（＝プレゼン）になりますので、可能な範囲で自由にご発表ください。

I.研究目的	II.研究方法	1.対象	2.調査方法	3.調査実施期間	4.主な調査内容	5.倫理的留意
6.分析方法	III.結果（データ等の客観的事実）	IV.考察	V.結論	謝辞	引用・参考文献	

（日本介護学会抄録テンプレート）

6. 参加費 無料（会場までの交通費は参加者負担）

7. 申込方法 下記 URL よりエントリーをしてください。

☞ <https://ec-9x2f8.eventcreate.net/survey/906>

※申込締切：10月3日（金）まで

※エントリー数（発表者）の上限：42 発表

- ・エントリー数が上限を超える場合や、全体の発表テーマ（内容）の数に偏りがある時は、個別に調整させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- ・エントリーの決定連絡は、10月中旬頃にメールでお送りいたします。
- ・エントリー受付以降、発表テーマの変更は可能です（10月中旬頃に再度、確認予定）。

8. スケジュール

- 10月中旬 発表テーマの提出
- 11月中旬 発表施設へ日時や順番等の通知
12月中旬～2月末にかけて広報・周知にご協力願います。
（※別途、詳細を案内いたします）
- 令和8年2月初旬 事前説明会を開催（Zoom 形式）



9. 問合せ 大阪府社会福祉協議会 老人施設部会事務局（青木・渡邊）
〒542-0065

大阪市中央区中寺 1-1-54 大阪社会福祉指導センター2 階

TEL：06-6762-9001 FAX：06-6768-2426

Mail：sakurasou@a-kaigo.gr.jp



令和 7 年 9 月 24 日
老人施設部会事務局

大阪府看護協会（ナースセンター大阪事業所）との連携について

老人施設部会では、昨年度に引き続き、潜在的な看護師・准看護師に対する復職支援ならびに高齢者福祉分野への関心を高めるために、「大阪府ナースセンター」（看護師の無料職業紹介所）との連携を推進しています。令和 7 年度の取り組みは、下記のとおりです。

1. 就職相談会における相談員の派遣

- ・大阪府内の 6 地区で開催する「就職相談会」（病院や保育園、高齢者施設等が出展）において、「高齢者施設の相談コーナー」に相談員の派遣依頼を受けています。

→ 特養分科会運営委員会にご相談

■実施状況

地区	開催日時	会 場
大阪市	7/9（水）10:00～12:00	大阪府看護協会（マルイト OBP ビル 8 階） → 亀望会 江之子島コスモス苑 様 （参加者：●人、相談者：12 人）
	7/9（水）13:30～15:30	
北河内	8/28（木）13:00～15:00	大阪府看護協会（マルイト OBP ビル 8 階） → 晋栄福祉会 ナーシングホーム智鳥 様 （参加者：34 人、相談者：●人）
中河内 南河内	9/12（金）13:00～15:00	あべのハルカス 25 階会議室 → 朋寿会 訪問看護ステーション 様 （参加者：33 人、相談者：5 人）
三島 豊能	10/31（金）13:00～15:00	大阪府看護協会（マルイト OBP ビル 8 階） → 秀明会様、大阪府済生会様（予定）
泉州	11/10（月）13:00～15:00	岸和田市社会福祉総合センター * 令和 6 年度 泉ヶ丘福祉会様、和秀会様 （参加者：20 人、相談者：3 人）
堺	12/17（水）13:00～15:00	堺地方合同庁舎 9 階会議室 * 令和 6 年度 上神谷福祉会様 （参加者：34 人、相談者：8 人）

* 令和 6 年度の参加者：合計 230 人／相談者：合計 53 人

2. 看護師・准看護師の施設見学会の受け入れ

- ・今年度も、求職登録者や各種事業の参加者に対する情報提供のために、福祉・介護現場に関心のある看護師・准看護師を対象にした「看護師・准看護師の施設見学会の受け入れ」について依頼があり、特養分科会の発信で会員施設にアンケート調査を実施しました。

→調査期間：令和7年4月15日～令和7年5月23日まで

→受入期間：令和7年7月1日～令和8年2月28日まで

※結果、70施設から回答あり（うち、62施設が受け入れ可能）

→今後、作成する一覧表は、ナースセンターに提供するとともに、就職相談会や復職応援セミナーで配付されます。

3. 復職応援セミナーに対する講師派遣

- ・今年度も、「介護・福祉施設コース（計4回）」向けに講師の派遣を行います。
講義内容は、「特養、デイ、地域包括支援センターにおける看護師の仕事や役割」となっており、在宅分科会運営委員会に相談し、ご対応いただきます。

■「介護・福祉施設コース（計3回）」向け 13:40～14:40 @ナースングアート

日 程	担 当
① R7.6/3(火)	(福) 淳風会 法人本部 理事・総施設長 山本 智志 氏 (受講者 14名)
② R7.9/9(火)	(福) もくせい会 ケアハウス きんもくせい 施設長 池永 直美 氏 (受講者 16名)
③ R8.3/4(水)	(福) 高安福祉会 特別養護老人ホーム信貴の里 施設長 樋口 昌徳 氏

(令和6年度) *受講者数 33人 → その後、就職が決まった人は、12人
(採用先の内訳は不明ですが、概ね介護施設と思われる)

(ナースセンターによる協力)

- ・老人施設部会のブロック別就職フェアにおいて、ナースセンター登録者へのメール配信（イベント告知）等を行っていただけます。

※詳細は、ナースセンター大阪事業所の担当者へ直接ご相談ください。

(問い合わせ窓口)

公益社団法人大阪府看護協会 大阪府ナースセンター事業所
所長 森坂 佳代子 氏 （就職相談会：松尾 氏／復職応援セミナー：有田 氏）
e-mail k-morisaka@osaka-kangokyokai.or.jp / osaka@nurse-center.net
〒536-0014 大阪市城東区鳴野西2丁目5番25号
TEL 06-6964-5511 FAX 06-6964-6666



令和7年9月24日

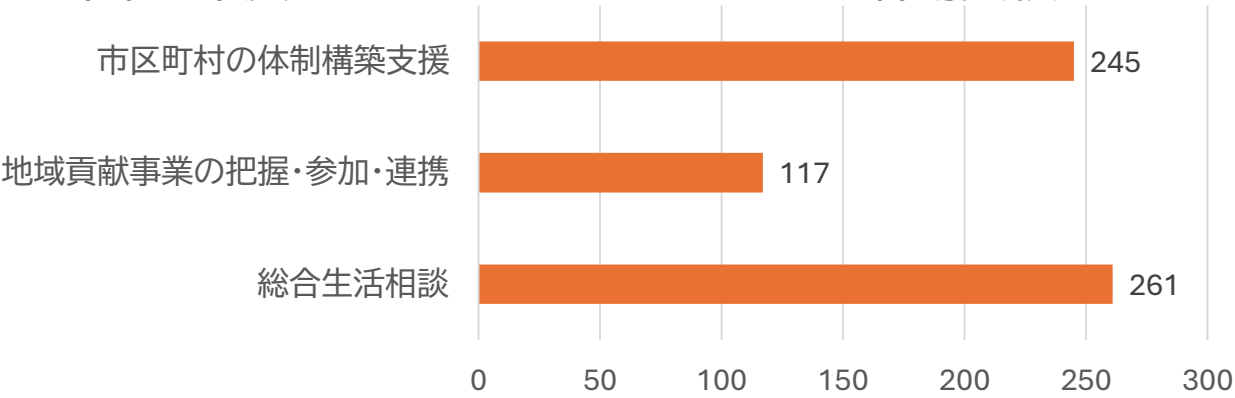
「大阪しあわせネットワーク」 事業進捗について

1. 事業進捗状況について(しあわせネットワーカー活動報告)

7月に社会貢献委員会を実施、昨年度の事業と今年度の事業進捗に関して報告を行いました。今後は助成金の進捗状況の確認、検討を足がかりに、包括的支援体制の構築に資するよう訪問し、関係づくりを深めていきます。

なお、訪問については、大阪市4区と府内4町村以外は初回の訪問を完了し、現在の状況確認などを行っているところです。

令和7年度 しあわせネットワーカー 活動実績



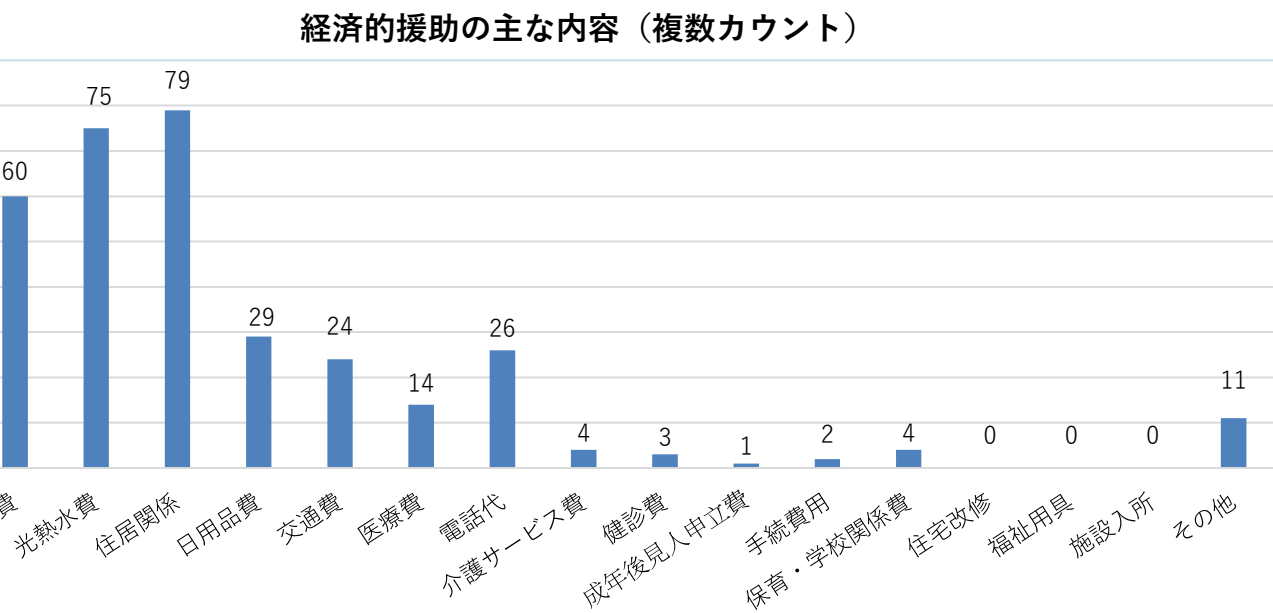
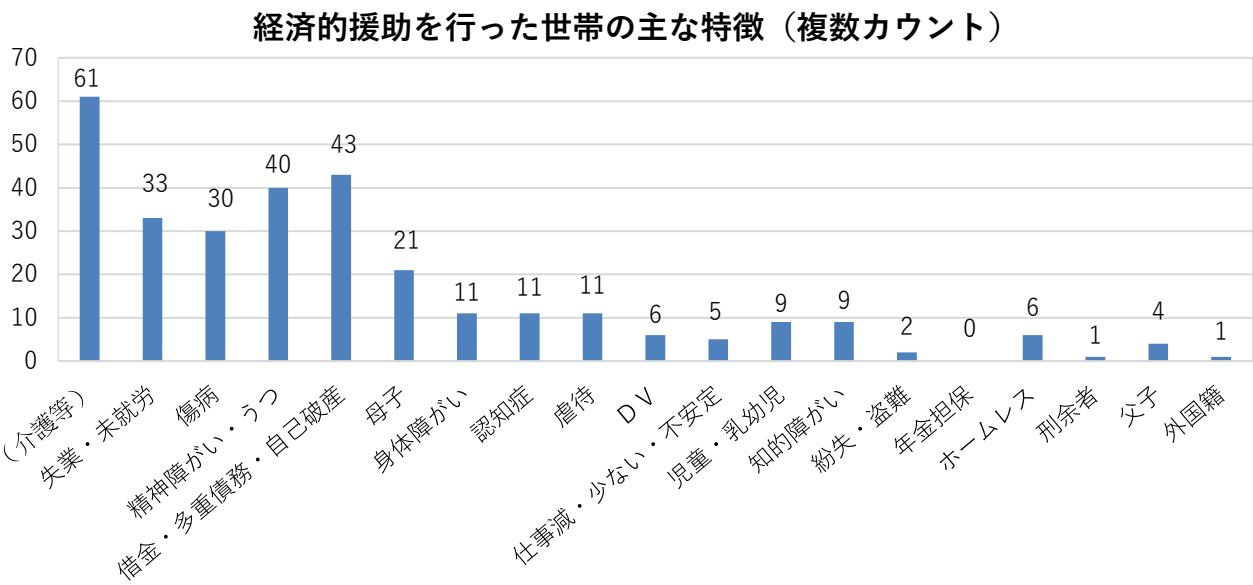
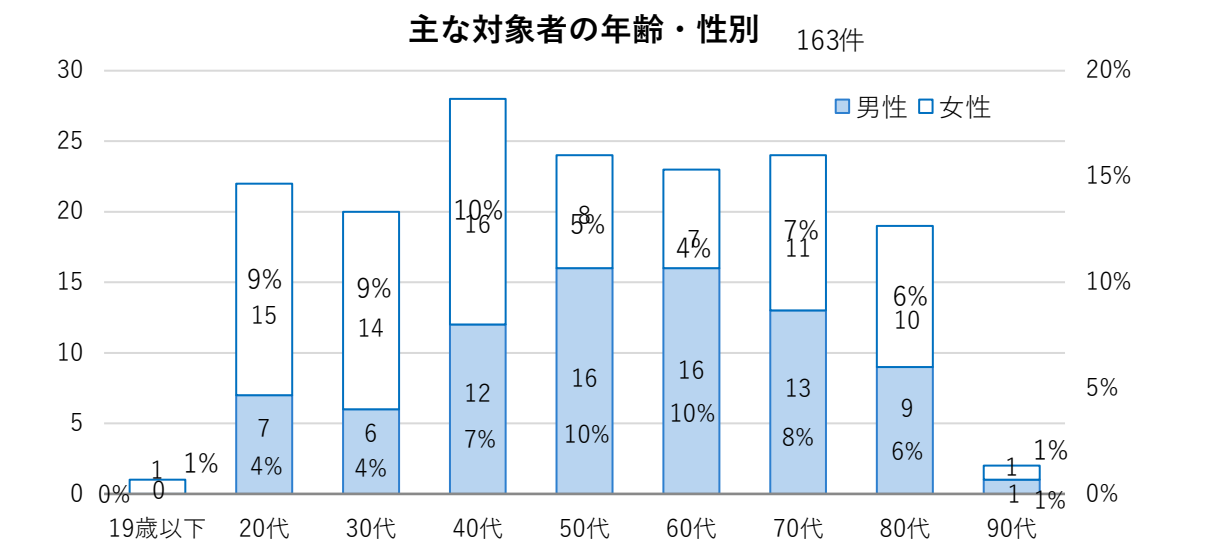
しあわせネットワーカーへの相談内容(総合生活相談:抜粋)

生活援護課受付相談員CWから受電。70代单身男性 2年前から電気・ガス、昨年から水道が止まっている。年金7万/月。家賃3.5万/月。本日生保申請受け付けた。食費として本人に1万円貸した。電気ガス水道を通すのに3～4万円要るが、生保からは出せない。支援してもらえないか？本人は電話を持たず、地区担当CWが訪問することになっており、同席してもらえないか？との相談。
CSWマイスターより連絡 70代の方 退院したところ電気が滞納により停止していた。冷蔵庫内の状況も劣悪で、社協から食材支援をしたが、病状の悪化を防止するために経済的支援をする予定。
自立支援(生困)から受けたCSWからの相談。60代单身男性 ①家賃2か月滞納 ②8/5に6月分の電気代を払わないと停止する。本人は少しずつ家賃が上がることから、他区で廉価な住居に転居の話を進めている。①と②の精算を(本事業で)支援希望。
自立相談より相談 30代女性 母子 (中学生の子2名) 本人 療育手帳B 2、長子 療育で支援学校 保護申請済 自立相談より食糧提供した。8月上旬に児童手当入金予定あり。 夏休みに入り食糧が不足しているが、本人の理解度と切迫感がなく心配 食糧支援のレスキューをしてほしい。→CSWに相談済
15日にCSWが生困から受け、17日に推進室に新規として受電、相談を受けた50代父子(中2男児)の件。 他区CSWから再度受電:基金申請手続きと支援の方針について協議「学校費7月末までの6千円を払わないといけない。息子が学校にもっていく必要があるが、信用する・しないに関らず、現時点で息子に現金を預けるのは避けたい。知らない大人が急に現れて同行するというのも息子にとってどうか？と考える。息子にはヤングケアラーとしての認識を持ち関わっていきたい。行政を通し、学校と調整してもらえたらと思っている。生困の見立てとして、金銭管理は父はできるというが、8月の手取が16万円で、以前、9.5万円/月の所から転居してきて、家賃が7.5万/月という。今後の見通しなく支援していいものか考えている。尚、妻側に居る子の養育費を5万円渡しているが、弁護士を通して減免してもらおうよう進める予定とのこと。10万円の支援で済みそうにないが、優先順位を図る。事前に基金申請をしても良いか」との相談。
CSWより要支援者M氏について進捗状況報告: 家賃8.3万が高額⇒閉所恐怖症により車で通勤していた。8.3万の中に駐車場代も含まれている。現在、仕事を探しているところであるが、見つからない場合は安い家賃の住宅に転居し、生活保護を受けることも考えている。今後また何かあれば相談するとのこと。

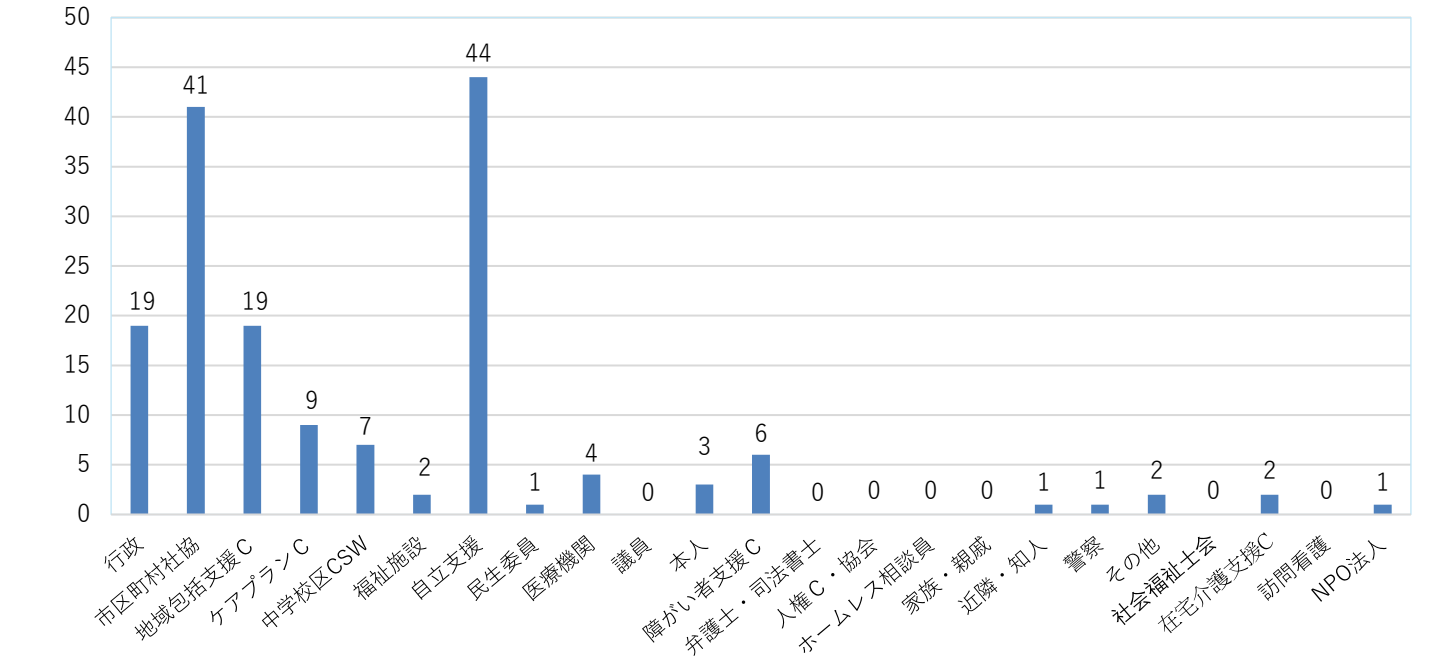
大阪しあわせネットワーク事業進捗（R7年8月）

(1) 総合生活相談・経済的援助件数について
○失業、介護、障がい、虐待やDVなどにより、今日・明日食べるものがない、電気・ガスがとまってしまった…など制度の狭間の生活困窮に陥った方など、様々な生活SOS”に対応する総合生活相談事業「生活困窮者レスキュー事業」を展開しています。

	令和7年4～8月	令和6年4～8月
経済的援助件数	163帯 約1,397万円	197世帯 約1,667万円



経済的援助事例の紹介経路



経済的援助の事例について(抜粋)

N O	紹介経路	年齢	性別	世帯人数	概要	金額	担当部会
1	行政	20代	女	2	特徴)DV避難、虐待、住居支援 パートナーによる長女(義父にあたる)への虐待があり、さらに新たに妊娠した後もパートナーの借金のために働かされお金を要求される。またパートナーとその母親から堕胎するように強制され、逃げてきた。妊娠中のためアルバイトも難しい。転居費用や学用品は市が相談にのってくれるとのことだが、テラスハウスの2階の寝室に冷房がなく、危険な暑さとなっているため必要な物品の支援を行う。 (その他:エアコン)	100, 000	老人
2	自立相談	60代	男	1	特徴)退去勧告、住居支援 7/18に強制執行となり現在の居所を7/17までに出て行く必要がある。自身で市営住宅に申し込み入居手続きを進めたが、初期費用61,500円、8月分家賃20,500円が工面できない状態である。このまま行けば7/18よりホームレス生活を送ることとなり、年金の収入8/15まで手持ち金もなく親族からの支援も望めない。7/17までに市営住宅に入居するには1週間前の7/10に初期費用等を支払う必要がある、早急に経済的援助が必要と思われる。 (住居費用)	82, 000	成人
3	民生委員	80代	男	1	特徴)生活保護受給までのつなぎ、公共料金の滞納 年金月5万→生保申請に向ける。160万の借金返済に月10万返済中、滞ることもあり、債務整理または自己破産も考えていく。緊急性高く、家賃3か月分滞納による損害金や電気・ガスの支払いによる生活の確保と日用品費を支援する。 (家賃・公共料金の滞納、日用品)	85,223	保育

(2) 社会福祉法人(福祉施設)の強みを活かした地域貢献事業

○社会福祉法人(福祉施設)の機能や強みを活かし、地域のニーズに応えるさまざまな支援事業を開発・展開しています。しあわせネットワーカーが把握した地域貢献事業については、しあわせネットワークポータルサイトやInstagramに掲載し、広く情報提供を行います。

和泉市

ビオラ和泉

つながりフェスティバル



ビオラ和泉の「つながりフェスティバル」は、世代や立場をこえて、人と人がつながる場所。キッチンカーのごちそう、手づくりの温もり、やさしい音楽や会話。認知症に関する学びと交流の場も提供します。

(居場所づくり・住民参加・施設開放)

摂津市

ハッピー食堂

あいのわ摂津



生活応援弁当やってます！／

あたたかいごはんとおかずが入った、ボリュームたっぷりのお弁当を市内企業の協力により無償提供。みんなの「困った」を、地域でそっと応援する取り組みです

(食料提供、生活困窮者支援)

(3) 市区町村域しあわせネットワーク体制整備助成金事業

大阪府内については32市町村11,280,265円の申請あり。体制強化に向けた取り組み、関係づくりのために実施する事業を中心に申請いただいているため、今後関係者の想いや今後の課題を整理できるような形で報告書にまとめていく予定。
(申請内容抜粋)

市町村	内容
高槻市	社協と社会福祉法人が協働する共生型子ども食堂 身近な福祉相談の充実(研修、設備の充実など)
大東市	相談体制・居場所づくり ①関係機関との相談しやすい関係づくり ②施設見学や交流会、講演会、ボランティア受け入れ ③相談支援記録法の研修 福祉避難所の検討(災害への取り組み)
柏原市	地域貢献委員会の周知 フードパントリーの充実、防災研修をより具体化して発展
高石市	ひきこもり支援を中心にしたつながりづくり 専門職サポーターによる伴奏型支援、講演会、居場所づくり こども会カーニバルへの参画 子ども食堂ハスマイルサポーターを派遣

令和8年度の本助成事業については、10月頃に案内予定。
大阪市については、当初実施しない予定で進んでいたところ、再検討。
8月13日に再募集を行い、現時点で7区より申請の意思を確認した。

(4)大阪しあわせネットワーク10周年事業(予定)

- ・社会福祉大会(11月26日 国際交流センター)
記念講演「しあわせは語りの中に ― 浪曲が映す人びとのくらし―」
講 師:人間国宝 浪曲師 二代目 京山幸枝若 氏
感謝状の贈呈
社会貢献支援員の駐在先をお引き受けいただき、活動の基盤を支えてくださった法人
25法人、3団体(施設連絡会)に対して受諾を確認中。
- ・大阪しあわせネットワーク10周年感謝のつどい
令和7年11月26日 18:00～20:00 ホテル日航大阪
- ・大阪しあわせネットワーク10周年記念小史
大阪しあわせネットワークの歴史を中心に編集予定
(もくじ)
大阪しあわせネットワークとは(部会紹介)
発行にあたって
大阪しあわせネットワーク10周年に寄せて
事業概要
事業のあゆみ
事業分析を踏まえた事例報告
広がる地域貢献の取り組み
10年の活動を振り返って



(5)今後の研修予定

● CSWスマイルサポーター事例報告会

- ① 令和7年9月26日 14:00～16:00 @たかつガーデン ※案内済
『頼っていい』と思えた日―CSWとともに歩む再出発
(キーワード)若年層・刑余者・多重債務・家族支援が受けられない世帯
講師:西垣千春先生(神戸学院大学名誉教授)
- ② 令和7年10月16日 15:00～17:00 @たかつガーデン
高齢単身世帯に対する支援(仮)
(キーワード)単身高齢者・多重債務・孤立
講師:前田崇博先生大阪総合保育大学短期大学部(大阪城南女子短大)
- ③ 令和7年11月17日 14:00～16:00 @たかつガーデン
母子世帯に対する多機関連携の支援(仮)
(キーワード)母子世帯・多重債務・引きこもり、住居問題
講師:ふくしと教育の実践研究所 SOLA(Social-Labo) 新崎 国広先生
- ④ 令和7年12月22日 14:00～16:00 @たかつガーデン
DVから避難した母子世帯の支援(仮)
(キーワード)母子世帯・多子・DV・生活保護
講師:梅花女子大学 井元真澄先生

●CSWマイスター研修(予定)

令和7年11月4日、5日 @プリムローズ大阪
講師:日本社会事業大学名誉教授 大橋謙策先生

●CSW養成研修(予定)

令和7年11月19・28日、12月9日 オンライン開催

令和 7 年 9 月 24 日
老人施設部会事務局

令和 7 年度 特養分科会 ブロック別の取り組み状況について

主催	就職フェア	第 1 回ブロック会議	施設見学・意見交換会	備考
三島 ブロック	4 月 27 日（日） 10:00～16:00 @摂津市立コミュニティ プラザ 参加者 35 人	8 月 22 日（金）&研修 14:00～17:30 @クロスパル高槻 * 終了後、懇親会	* 会場を検討中 昨年度 R6.12.9 (福)成光苑 セつつ桜苑	
豊能 ブロック	8 月 8 日（金） 12:00～15:30 @千里阪急ホテル 参加者 70 人	8 月 27 日（水） 15:00～17:00 @千里朝日阪急ビル	* 日程調整中 @アリス佐竹台	
北河内 ブロック	10 月 4 日（土） 13:00～15:30 @京橋ツイン 21	7 月 24 日（木） 17:00～20:30 （うち 18:10～懇親会） @がんこ寿司 寝屋川店	開催予定 11 月 6 日（木） 13:30～16:00 @雨塚らくらく苑	
中河内 ブロック	9 月 26 日（金）就職フェア @アリオ八尾 10 月 17 日（金）就職フェア @布施市民プラザ	9 月 4 日（木）&研修 14:00～17:00（仮） @大阪府社会福祉会館 * 終了後、懇親会	* 調整予定 @（福）由寿会	
南河内 ブロック	R8.1 月 22 日（木） @すばるホール R8.3 月 5 日（木） @堺市産業振興センター ※いずれも、ぼどの「おしごと 博」との共同開催	7 月 31 日（木） 15:30～17:00 @羽曳野市立生活文化情報 センター * 終了後、懇親会	* 日程調整中 @くみのき苑さらさ	
泉州 ブロック		9 月 3 日（水） 13:30～16:00 @（福）泉ヶ丘福祉会 泉ヶ丘園りんくう	開催済み 9 月 3 日（水） 14:20～16:00 泉ヶ丘園りんくう	
堺市 ブロック	（参考）さかい福祉と介護 の実践発表会 11 月 15 日（土）13:00～ 16:30 @関西大学(堺)	4 月 16 日、6 月 11 日、 8 月 20 日、10 月 15 日、 12 月初旬（忘年会）、 2 月 18 日	開催済み 7 月 7 日（月） 13:30～16:00 槇塚荘	
分科会 大阪市	（参考）人材確保・イメー ジアップ事業、「介護の 魅力伝え隊」	■5 月 16 日（総会） ■施設長会議・研修会 7 月 25 日、9 月 26 日、 11 月 28 日、1 月 23 日、3 月 6 日	施設見学会は保留	

※ブロック活動助成金 25 万円については、9 月初旬に送金済みです（7 ブロック）。

老人施設部会「災害BCP見直しのススメ」研修会 ～被災時に実行性のあるBCPに向けて～

社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会

老人施設部会長 西島 善久

災害対策委員長 中島 康博

日頃から、本会事業の推進に格別のご協力を賜り深謝申し上げます。

さて、令和7年4月1日から、感染症あるいは災害発生時におけるBCP（業務継続計画）は策定が義務化され、会員施設では、外部研修への参加や、委員会での検討、各種雛形などを参考にしながらすでに策定を終えており、職員研修や訓練を通じて、施設内での体制整備や普及に努めているところかと存じます。

BCPは、入居者・利用者の健康、身体、生命を守るために必要不可欠なものであり、被災したとしても最低限のサービスを提供し続けて少しでも影響を抑えることが求められ、また、職員への適切な措置を講じることは事業者の責務でもあります。

このような中、能登半島地震では、ライフラインの中断や道路寸断の長期化、電源・燃料の確保、職員の多数が被災するなど様々な想定外の事態により、多くの福祉施設のBCPが機能不全に陥りました。あらためて、福祉施設においては、災害BCPをより実効性のあるものに見直し、ブラッシュアップすることが求められています。

そこで、このたび、会員施設による具体的な見直し状況を学び、参加者同士の意見交換を通じて、実効性のあるBCPに資するための研修会を開催することといたしました。

当日は、能登半島地震の職員派遣の経験や、施設内における精緻なシミュレーションの実施、被害想定の見直しに伴う再点検などを通じて、これまで、どのようにしてBCPの見直し・ブラッシュアップを図ってきたかをご報告いただきます。

つきましては、ご多忙とは存じますが、当該職員の皆様に、ぜひ、ご参加いただきますようご案内させていただきます。

記

1. 日 時 令和7年11月7日（金）14：00～16：30
2. 会 場 たかつガーデン 地下1階 オリーブ（大阪市天王寺区東高津町7-11）
＊近鉄「大阪上本町」から徒歩200m。OsakaMetro「谷町九丁目」駅から徒歩500m
3. 対 象 老人施設部会 会員施設
4. 定 員 60人 ※先着順／定員に達し次第締め切らせていただきます。
5. 参加費 無料
6. 申込み 本Webサイトの「お申込」から、10月31日（金）までにお申し込みください。
7. プログラム

時 間	内 容
14：00～14：05	オリエンテーション
14：05～15：15	実践事例の報告① （福）堺福祉会 ハートピア堺（堺市） ※被害想定：地震（津波あり） （令和3年度 社会福祉法人らしさのあるBCP支援事業 モデル施設）
	実践事例の報告② （福）ライフサポート協会 なごみ（大阪市） ※被害想定：地震（津波なし） （令和3年度 社会福祉法人らしさのあるBCP支援事業 モデル施設）
	実践事例の報告③ （福）愛和会 ローズコミュニティ・緑地（大阪市） （令和7年度 近畿老人福祉施設研究協議会(和歌山大会) 発表施設）
15：15～15：30	休憩

15：30～16：30	参加者同士の意見交換
16：30	閉会

8．問い合わせ 大阪府社会福祉協議会 老人施設部会 事務局
担当者（青木、渡邊） 電話：06-6762-9001

お申込み

現在お申込の受付はしていません

開催日程

開催日 2025/11/07 14:00 ～ 16:30
申込み受付期間 2025/09/26 09:00 ～ 2025/10/31 23:30

主催者情報

主催者名 大阪府社会福祉協議会 老人施設部会
担当者 青木・渡邊
連絡先（TEL） 06-6762-9001
連絡先（メール） sakurasou@a-kaigo.gr.jp (mailto:sakurasou@a-kaigo.gr.jp)

文書管理：大社福施発第●号 令和 7 年 9 月●日

会場情報

会場名 たかつガーデン 地下1階 オリーブ (https://www.takatsu.or.jp/access)
会場連絡先 06-6768-3911
会場住所 大阪市天王寺区東高津町7-11
地図情報



(https://maps.google.com/maps? q=34.666877299998,135.521656&ll=34.666877299998,135.521656&hl=ja&z=17)

令和7年度 養護老人ホーム職員研修会（実践報告会）

～どうする養護老人ホーム～あなたが主役。笑顔を求める、さらなる挑戦～

近畿老人福祉施設協議会 養護老人ホーム職員研修会 開催のご案内

近畿老人福祉施設協議会 会長 堤 洋三
養護老人ホーム連絡会 代表 百武 昭彦
《公印略》

時下ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。日頃から本会事業推進に格別のご理解・ご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、養護老人ホームの運営に関しては、依然として厳しい状況が続いている施設も多く、やむなく事業の見直しや定員減を選択する施設が出ております。

今回の研修会では、そのような中でも、「職員が働く楽しさ」や「入居者の笑顔」を求め、様々な取り組みや支援をされている施設から実践報告をしていただきます。

他施設の取組みを生で聞けるまたとないチャンスです。情報共有、意見交換をしながら、日々の支援の目的や仕事のやりがいを見出していただく機会になれば幸いです。

つきましては、ご多用の折とは存じますが、施設長・管理職の皆様ならびに職員の皆様、ぜひご一緒に参加くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 日 時 令和7年10月24日（金）14時00分～16時50分

（終了後、17時00分から交流会（申込制）を予定しています。

2. 会 場 たかつガーデン 地下1階 オリーブ（大阪市天王寺区東高津町7-11）

＊近鉄「大阪上本町」から徒歩200m。OsakaMetro「谷町九丁目」駅から徒歩500m

3. 内 容 会員施設による実践報告6発表&意見交換会

時 間	内 容
14：00～	○オリエンテーション／開会あいさつ
14：10～	①（福）京都府社会福祉事業団 養護老人ホーム洛南寮（京都府） ②（福）洛東園 御陵洛東園（京都市） ③（福）大阪府社会福祉事業団 東大阪養護老人ホーム（大阪府）
14：55～	○休憩
15：05～	④（福）帝塚山福祉会 養護老人ホーム浜茄子苑（大阪市） ⑤（福）淡路島福祉会 養護老人ホームさくら苑（兵庫県） ⑥（福）功有会 養護老人ホーム大和園広陽（奈良県）
15：50～	○講評
16：05～	○休憩（10分）
16：15～	○質疑応答・意見交換
16：45～	○閉会あいさつ
16：50	○閉 会
17：00～	【別会場】交流会（任意・参加費制）

※進行次第ではスケジュールに変更を生じる場合がございます。あらかじめご了承ください。

4. 対象者 近畿老人福祉施設協議会 会員施設に所属する職員等

5. 定 員 60名※先着順／定員に達し次第締め切らせていただきます。

6. 参加費 1名あたり会員施設：3,000円（税込）、非会員施設：5,000円（税込）
（別途）交流会の参加費5,500円（税込）

※申込完了後、後日メールにて振込先をお知らせします。

7. 申込み 本Webサイトの「お申込」から、10月10日（金）までにお申し込みください。

8. 交流会

■会場 KAME RICO（カメ リコ）大阪市天王寺区東高津町9-13 KBCビル 1F

※会場からすぐ

■内容 家庭料理、おばんざいなどを楽しめる飲み放題付きコース（2時間）

9. 事務局

近畿老人福祉施設協議会 事務局（担当：青木）／大阪府社会福祉協議会 施設福祉部内
【TEL】06-6762-9001 【FAX】06-6768-2426

お申込み

申込種別	残数	お申込
R7養護老人ホーム職員研修会（実践報告会）	59件	申込 (/ticket/16949/order)

主催者情報

主催者名 近畿老人福祉施設協議会 事務局
担当者 青木・渡邊
連絡先（TEL） 06-6762-9001
連絡先（メール） kinroukyo@osakafusyakyo.or.jp (<mailto:kinroukyo@osakafusyakyo.or.jp>)

文書管理：大社福発第419号 令和7年9月8日

会場情報

会場名 たかつガーデン 地下1階 オリーブ (<https://www.takatsu.or.jp/access>)
会場連絡先 06-6768-3911
会場住所 大阪市天王寺区東高津町7-11
地図情報



(<https://maps.google.com/maps?q=34.666877299998,135.521656&ll=34.666877299998,135.521656&hl=ja&z=17>)

令和 7 年度近畿ブロック地域包括・在宅介護支援センター協議会 京都セミナー開催要項

2040 年に向けたサービス提供体制等のあり方
～地域包括・在宅介護支援センターの機能と役割～

厚生労働省が設置した「2040 年に向けたサービス提供体制等のあり方」検討会では、人口減少・サービス需要の変化に応じたサービスモデルの構築と支援体制が議論されており、検討にあたり、時間軸・地域軸の両方の視点が必要とされています。また、今後の課題と論点として、「地域包括ケアと医療介護連携」「介護予防・健康づくり」「認知症ケア」が整理されており、協議が進んでいます。

そのような背景を受けて本セミナーでは、福祉の専門職として、日々これらの検討課題に対してどのような実践をしているのかを「地域共生社会」「包括的な支援体制」「地域福祉」をキーワードに深めます。近畿圏内の地域包括・在宅介護支援センター、行政関係者等の関係者が一堂に会し、実践報告やポスター展示を通して学び合い、センターの機能と役割を考え共有することを目的に開催いたします。

- 1 主 催 近畿ブロック地域包括・在宅介護支援センター協議会
京都府地域包括・在宅介護支援センター協議会/大阪府社会福祉協議会老人施設部会在宅分科会
兵庫県地域包括・在宅介護支援センター協議会/奈良県地域包括・在宅介護支援センター協議会
京都市地域包括支援センター・在宅介護支援センター連絡協議会
- 2 日 時 令和 7 年 11 月 19 日（水） 12:00～16:30
(11:00～ポスター展示受付開始 12:00～一般受付開始・ポスター展示開始)
- 3 場 所 京都経済センター・産業会館ホール北室
- 4 参加者 300 名 近畿府県内の地域包括支援センター・在宅介護支援センターの職員、
運営法人・施設の代表者、施設長、管理者
行政機関・団体の職員、学生、その他テーマに関心のある方。

5 プログラム

時間	シンポジウム・記念講演	ポスター展示
11:00～		出展者受付・設 営
12:00～	一般参加者受付	展示見学
13:00～	開会挨拶（20分）	—
13:20～	第1部 実践報告シンポジウム（90分） （1） ICT の活用と地域に向く多職種連携 泉南市地域包括支援センター六尾の郷 上川 敦氏 （2） 『実態把握からつながる自立支援』～誰一人取り残さないために～ 生駒市梅寿荘地域包括支援 センター 長谷川 香織氏 （3） コロナの影響から生まれた支援のカタチ～北上認知症サポートネッ トワーク連絡会の取り組み～ 京都市鳳徳地域包括支援センター 北村 直美氏 各報告者：15分×3事例（45分） 会場および報告者とのセッション（45分） コーディネート：井岡仁志 氏（ローカリズム・ラボ 代表）	—
14:50～	休憩（10分）	展示見学
15:00～	第2部 記念講演（75分） あなたにもできちゃう 元気自家発電！（仮） 谷口キョコ 氏（タレント・ラジオDJ）	—
16:15～	閉会挨拶（次回開催地 兵庫県挨拶）（16:30閉会）	16:30終了
16:30～		撤収 （～17:00）

- 6 セミナー参加費 会員 4,000円 ※実践報告者および学生は無料
非会員 5,000円
※参加者同士の交流会は別途 5,500円を申し受けます。

7 参加者同士の交流会（任意参加）

参加者同士の意見交換・情報共有を目的に交流会を開催します。

会場：灯－AKARI－京都烏丸店（京都市中京区七観音町 634 カラスマプラザ 21B1）

時間：17：30～19：30 コース料理＋飲み放題 参加費：5,500円／人

8. 参加申込

右記の申込フォーム2次元コードに必要事項をご入力の上、お申込みください。

締切：令和7年10月31日（金）16時まで



申込フォーム2次元コード

（留意点）

- ・請求書や参加券の発行はいたしません。お申し込み後、参加受付と参加費請求を兼ねた受付メールをお送りいたしますので、必ずご確認をお願いします。
- ・参加費は、令和7年11月7日（金）までにお振込みください。
- ・11月8日（土）以降のキャンセルは、受付することができませんので、あらかじめご了承ください。

※ご入金いただいた参加費は、返金いたしかねます。あらかじめご了承ください。

（振込先）

名義：京都市地域包括支援センター・在宅介護支援センター連絡協議会 会長 秋山 博之

キョウトシチイキホウカツシエンセンター・ザイタクカイゴシエンセンターレンラクキョウギカイ
カイチョウ アキヤマ ヒロユキ

口座：京都銀行 河原町支店 普通 3894351

※振込の際には、受付メールに記載の受付番号を振込人（施設名）の前に記入をお願いいたします。

9. 後援

京都府・京都市・社会福祉法人京都府社会福祉協議会・社会福祉法人京都市社会福祉協議会・一般社団法人京都府老人福祉施設協議会・一般社団法人京都市老人福祉施設協議会・公益社団法人京都府介護支援専門員会・一般社団法人京都社会福祉士会・一般社団法人京都府医師会・公益社団法人京都府看護協会・一般社団法人京都地域密着型サービス事業所協議会・京都地域包括ケア推進機構

10. 問い合わせ先

社会福祉法人 京都市社会福祉協議会地域支援部（担当：上田・田中）

〒600-8127 京都府京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町 83-1 ひと・まち交流館京都3階

Tel：075-354-8732 Fax：075-354-8736

Email：houkatsukyou@kcs.w.jp

ポスター展示について

京都セミナーでは、参加者同士の情報発信、交流の機会として、下記のとおりポスター展示を募集します。
各センターの特徴ある活動や独自事業、広報物など幅広い御応募をお待ちしております。

- 1 開催概要
会 場 令和7年11月19日（水）12：00～17：00
京都経済センター・産業会館ホール北室内
- 2 出展申込 令和7年9月30日（火）まで申込フォームよりお申込みください。
（出展可能団体には、10月14日（火）以降に改めて通知します。）
- 3 ポスター A0版サイズ以内縦長（縦：1189mm 横：841mm）
フォーマットは自由とします。他の場所で展示したものでも構いません。
- 4 申込資格 地域包括支援センター、在宅介護支援センター
全国地域包括・在宅介護支援センター協議会に未加入のセンターも申し込いただけます。
- 5 コアタイム 来場者に対してポスターの内容を説明し、ディスカッションする時間としてコアタイム
を設けます。ポスターを出展した方はコアタイムを活用ください。
11月19日（水）12：00～13：00（出展者のコアタイムへの参加は任意）
- 6 注意点 1）演題名・所属・氏名は、縦200mm×横641mm以内に収まるように作成してください。
2）ポスター本文は、幅841mm×縦1,189mm（A0版）または、幅788mm×縦1,091mm
（模造紙）にて作成してください。図表、写真の貼り付け枚数は自由です。
A3用紙を貼付する場合、横向きに4枚ずつ2列に並べることができます。
3）当日、写真撮影は全て可能とします。個人情報保護や被写体本人の同意等は発表者の
責任において対応してください。
4）出展団体が多数の場合は、会場の容量の問題でお断りする場合がございます。
あらかじめご了承ください。
- 7 当日受付 ポスター出展した方は、11：30までに受付を通り、会場に設置した展示ボードに設営
をしてください。
- 6 スケジュール 11月19日（水）
11：00～11：30 受付
11：30～12：00 設営
12：00～13：00 コアタイム
13：00～16：30 セミナー
16：30～17：00 撤収
- 7 事務局準備物 1）1団体ごとにパネルを用意し、受付で貼り付け場所を連絡します。
2）セロテープと画鋲をご用意します。設置ボードは画鋲の使用が可能です。
※展示場所に長机を設置しますので、配布資料を置くことが可能です。



▲展示イメージ

- 8 申込フォーム2次元コード



介護最前線、 新しい介護の創造と 未来への挑戦

～変革への戦略と私らしい介護のかたちを目指して～

YAMAGUCHI



第4回

全国老人福祉施設大会・研究会議 ～JSフェスティバル in 山口～

開催日

令和7年12月4日（木）▶ 12月5日（金）

開催場所

山口県山口市

（KDDI維新ホール（山口市産業交流拠点施設）ほか）

主催：公益社団法人 全国老人福祉施設協議会・山口県老人福祉施設協議会

テーマ

介護最前線、新しい介護の創造と未来への挑戦 ～変革への戦略と私らしい介護のかたちを目指して～

趣 旨

急速な高齢化が進む日本では、2040年には後期高齢者が約2,239万人（全人口の約20%以上）に達すると見込まれており、医療・介護ニーズの急増は避けられない課題となっています。一方で、少子化が進み生産年齢人口の減少を背景に、採用の売り手市場と平均賃金格差から、介護従事者不足が深刻化しており、持続可能な介護サービス提供体制の再構築が求められています。

さらに足下では、食費を始めとする諸物価の高騰、人材不足が介護施設・事業所の経営を圧迫しています。業務の効率化や、多様な人材の活躍を促す職場改革など、戦略的な取組が急務であり、介護現場には、サービス提供体制の構築や地域共生社会の推進に向けた取組、女性の強みを活かした多様な人材の組織づくり、外国人介護人材の定着支援など、より高い価値やサービスの質を提供することが求められています。介護を取り巻く環境は、今まさに大きな改革の時を迎えています。

明治維新と日本の近代化を主導した長州で開催される「第4回全国老人福祉施設大会・研究会議～JSフェスティバル in 山口～」では、未来を見据えた「これからの介護のかたち」について考え、「私らしい介護」、すなわち私たち一人ひとりが自ら行う介護サービスを見つめ直し、次世代に繋がる介護、働き方とは何かを考えることで、将来活躍する若い人びとが希望をもって担える「新しい介護のかたち」を創造し、介護の未来の一步となることを目指します。

開催期日

令和7年12月4日（木）～12月5日（金）

（オンデマンド配信：令和7年12月26日（金）～1月30日（金））※予定

開催地

山口県山口市（KDDI維新ホール（山口市産業交流拠点施設）、山口グランドホテル）

主 催

公益社団法人全国老人福祉施設協議会、山口県老人福祉施設協議会

後援（予定）

厚生労働省、山口県、山口市、社会福祉法人全国社会福祉協議会、
公益社団法人全国老人保健施設協会、一般社団法人日本慢性期医療協会、
全国地域包括・在宅介護支援センター協議会、公益社団法人日本認知症グループホーム協会、
公益社団法人日本介護福祉士会、社会福祉法人山口県社会福祉協議会、
山口県デイサービスセンター協議会

参加対象

- ①全国老施協会員施設・事業所の役員及び職員等
- ②老人福祉・介護事業に関わる行政、社会福祉協議会の役員及び職員
- ③その他本会が認めた者

参加費

【当日参加（オンデマンド配信込み）】会員：10,000円（税込） 非会員：20,000円（税込）
【オンデマンド配信のみ】会員：6,000円（税込） 非会員：12,000円（税込）
（※オンデマンドの配信内容は一部対象プログラムのみ）

※感染症の流行状況によっては無観客の開催等、開催方法が変更となる場合がございます。

※★のついているプログラムはオンデマンド配信対象プログラムとなります

KDDI維新ホール

	メインホール	ホワイエ／自由通路
11:00	開会式典（60分）★	介護機器展
12:00	基調報告（30分）★	
12:30-13:30	昼食休憩（60分）	
13:30	行政報告（30分）★	ランチョンセミナー（40分） 201A／201B・Cで開催（※要予約）
13:40		
13:50		
14:00		
14:10		
14:20		
14:30	特別講演（60分）★	
14:40		
14:50		
15:00		
15:10		
15:20		
15:30	女性キャリアアップ推進委員会 プログラム（60分）★	
15:40		
15:50		
16:00	特別記念講演（60分） （元バレーボール日本代表 栗原 恵 氏）	介護機器展
16:10		
16:20		
16:30		
16:40		
16:50		
17:00		
17:10		
17:20		
17:30		
17:40		

メインホール

11:00～12:00 開会式典 ★

挨拶、来賓紹介、退任代議員・永年勤続表彰

12:00～12:30 基調報告 ★

公益社団法人全国老人福祉施設協議会 会長 大山 知子

13:30～14:00 行政報告 ★

厚生労働省

14:00～15:00 特別講演 ★

2040年に向けた人材確保策～地域型プラットフォームの意義と可能性～

2040年に向けて、生産年齢人口が減少する中、介護人材確保は最大の課題です。

地域ごとの特性に応じたサービス提供体制の構築と、持続可能な介護人材対策を推進・連動させるため連携・協働して解決するための仕組みづくりについて実践事例を交えて解説・提案します

静岡県立大学短期大学部 社会福祉学科 教授 鈴木 俊文 氏

介護、ケアマネ、ホーム長を経験し、大学で教鞭をとりながら博士号（社会福祉学）を取得。

その後、厚生労働省の介護人材確保・広報戦略対策官を経て現職となる。

現在、日本介護福祉学会会長。静岡県では、地域型プラットフォームによる多様な介護人材確保の取組に関与するなど人材確保の創出や活動に従事。直近ではこれからの介護福祉を議論する「2040年に向けたサービス提供体制等のあり方」検討会構成員、社会保障審議会福祉部会委員を務めるなど、介護人材対策の実践者、教育者、研究者として活躍している。



全体会（12月4日） プログラム紹介（メイン会場）

※★のついているプログラムはオンデマンド配信対象プログラムとなります

メインホール

15:10～16:10 女性キャリアアップ推進委員会プログラム ★

女性活躍と多様性が創る新しい組織とは～次世代を担う若者が希望をもって働ける職場に～

性別、国籍、年齢等を問わず介護の職場で活躍する人材も多様化し、より一層、職場に一体感が求められています。女性が活躍できる組織づくりを出発点に、様々な人材が「私らしく」活躍できるような組織づくりについて考えてみませんか。

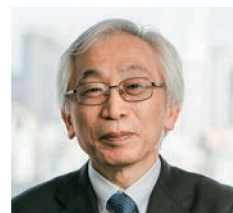
東京大学 名誉教授 佐藤 博樹 氏

東京大学名誉教授、中央大学ビジネススクール・フェロー。

一橋大学大学院社会学研究科博士課程単位取得後、法政大学経営学部、東京大学社会科学研究所、中央大学大学院戦略経営研究科（ビジネススクール）の教授を歴任し現職に至る。

著書として、『ヘルパーの能力開発と雇用管理：職場定着と能力発揮に向けて』（共著、勁草書房）、『新訂・介護離職から社員を守る』（共著、労働調査会）、『多様な人材のマネジメント』（共著、中央経済社）、など。

兼職として、内閣府・男女共同参画会議議員、経産省・「なでしこ銘柄」選定基準等検討委員会委員長、介護労働実態調査等検討委員会座長、中央福祉人材センター運営委員会委員長など歴任。



特別養護老人ホーム 寿生苑 統括施設長 朝野 愛子 氏

看護師として病院、訪問看護を経て、2000年介護支援専門員を取得後、2002年社会福祉法人今山会に入職。介護支援専門員、機能訓練指導員、小規模施設の施設長、2011年今山会の統括施設長兼、特別養護老人ホーム寿生苑施設長に就任。2024年から理事として法人運営をサポートしている傍ら、一般社団法人福岡市老人福祉施設協議会の顧問も務める。

施設長就任後は多様な人材が生き生きと働ける環境を作り、ビジョンである「お客様、職員、地域に愛される法人」を目指している。



特別養護老人ホーム アイユウの苑 事務局長 辻中 浩司 氏

化学メーカーの研究所に勤務した後、1995年に「社会福祉法人松美会」に入職、事務長として「特別養護老人ホームアイユウの苑」などの立ち上げにかかわる。その後も地域ニーズに応えるかたちで複数の高齢者介護サービス事業所、地域包括支援センター、こども園を立ち上げる。2002年から事務局長を務める。

全ての事業所において、品質（ISO9001）・労働安全衛生（ISO45001）2つのマネジメントシステムの認証取得を実現し、「ご利用者の満足・感動をめざす質の高いサービス提供」と「すべての職員が安全・安心に働けることができる職場づくり」に情熱をもって取り組む。



公益社団法人全国老人福祉施設協議会 女性キャリアアップ推進委員会 委員長
若林 久美子

16:20～17:20 特別記念講演

講演タイトル 「凜と～やってから後悔するか、やらなくて後悔するか～」

栗原 恵 氏 （元バレーボール 日本代表）

1994年7月31日生まれ。山口県防府市・三田尻女子高校バレー部出身。小学4年からバレーボールを始め、高校は名門・三田尻女子高校に進学し、1年時のインターハイ・国体・春高バレー、2年時のインターハイ優勝の高校4冠のメンバーとして活躍。2004年には、2大会ぶりの出場を決めたアテネオリンピックに出場し5位に入賞した。2019年6月4日、現役引退を発表。17年間のプロバレーボール選手生活に終止符を打ち、現在はスポーツキャスター、モデル、タレントなど多方面で活躍している。



17:20～17:50 プレゼント抽選会・閉会式典 ★

プレゼント抽選会、大会宣言、次期開催県会長挨拶

分科会実践研究発表（計4会場）★

KDDI維新ホール

山口グランドホテル

1

メインホール

2

鳳凰+鶴

3

孔雀

4

末広

9:00

9:30

10:00

第1分科会①分散会
（認知症対応／医療・
介護連携、看取り）

10:30

11:00

第3分科会
（人材）第4分科会
（在宅・デイ）第6分科会
（養護）

11:30

認定状授与式、
委員会報告
閉会式（30分）認定状授与式、
委員会報告
閉会式（30分）認定状授与式、
委員会報告
閉会式（30分）認定状授与式、
委員会報告
閉会式（30分）

12:00

12:30

昼食休憩（60分）

13:00

13:30

14:00

第1分科会②分散会
（LIFE・機能訓練、
口腔、栄養）第2分科会
（経営）介護人材対策委員会
プログラム
外国人介護人材の
定着へ
～成功や失敗を事例
から学ぶ～
（80分）第5分科会
（軽費・ケア）

14:30

休憩・会場切り替え（20分）

15:00

JS次世代委員会プログラム
『チャットリ!大会議』
～会場チャット質問
型トークセッション～
（80分）

15:30

認定状授与式、
委員会報告
閉会式（30分）認定状授与式、
委員会報告
閉会式（30分）認定状授与式、
委員会報告
閉会式（30分）

※★のついている会場のプログラムはオンデマンド配信対象プログラムとなります

先駆的特別報告★

介護機器展

ランチョンセミナー

KDDI維新ホール

5
201B・C

6
1～2F ホワイエ自由通路

7
201A/205B・C

先駆的特別報告

介護機器展会場

ランチョンセミナー
(40分)
(※要予約)

先駆的特別報告

委員会報告
閉会式 (30分)

9:00

9:30

10:00

10:30

11:00

11:30

12:00

12:30

13:00

13:30

14:00

14:30

15:00

15:30

分科会（12月5日） プログラム紹介～実践研究発表・先駆的特別報告～

※★のついているプログラムはオンデマンド配信対象プログラムとなります

実践研究発表（AM・PM 計7分科会（分散会））★

- 第1分科会分散会① ▶ その人らしさを支える介護の実践～根拠あるケアの展開～
- 第1分科会分散会② ▶ その人らしさを支える介護の実践～自立支援を主眼としたPDCAの展開～
- 第2分科会 ▶ 経営力の強化～地域に合わせた持続的な事業戦略～
- 第3分科会 ▶ 介護人材戦略の最前線～採用・育成・定着を未来につなぐ～
- 第4分科会 ▶ 2040年を展望した在宅サービスの挑戦と可能性～地域を守り、支えるためのケアと経営～
- 第5分科会 ▶ 地域共生社会の実現に向けた軽費・ケアハウスの新たな挑戦～目指すべき支援とあるべき役割～
- 第6分科会 ▶ 養護老人ホームの経営改善と今こそ発揮される蓄積力～地域共生社会における措置施設としての多面的・戦略的アプローチ～

先駆的特別報告（9:00～16:00）★

全国老協の公募調査研究助成事業により実施した研究事業を報告します

- 報告1 ▶ **外国人介護人材への重層的な業務マネジメント体制の構築へ向けた実態調査**
職員による外国人材への関わり方を整理し、具体的な対応を分析することで、高齢者福祉施設内での効果的な業務マネジメント体制の構築に向けた視座を得ることを目的としたもの。
昭和女子大学 人間社会学部 福祉社会学科 専任講師 熊谷 大輔 氏
- 報告2 ▶ **認知機能変動観察指標を用いた認知症ケア方法の検討に関する研究**
ケア提供者（老人福祉施設の介護・看護職員）が認知機能変動観察指標を用いて、認知症の人に現れる認知機能変動を観察し、個々の認知機能変動の特徴やパターンを抽出することにより、認知機能変動の特徴を踏まえたケア方法を構築することを目的としたもの。
兵庫医科大学 看護学部 准教授 加藤 泰子 氏
- 報告3 ▶ **死の人権と死の個別化に対応した『次世代型看取りのガイドブック』の作成とその情動的効果の検証**
看取りの課題である、その人らしい最期を支えるための支援とその担い手の育成に向け、死の人権が尊重された看取りの技術と知識を集積した次世代のガイドブックの作成と、その効果の検証を目的としたもの。
日本医療大学 総合福祉学部 介護福祉マネジメント学科 講師 佐藤 恵 氏
- 報告4 ▶ **介護施設における変革志向の組織づくりに関する実践的研究**
介護施設における経営環境適応の阻害要因として「変革が生まれにくい組織文化」に着目し、その実態と影響要因を解明するためのもの。
立命館大学 産業社会学部 現代社会学科 教授 呉 世雄 氏
- 報告5 ▶ **介護老人福祉施設の従来型・ユニット型の施設長が認識する介護労働の肯定的要因－全国アンケート調査のエビデンスをもとに－**
介護老人福祉施設の代表である施設長が認識する介護労働の肯定的要因について、従来型・ユニット型の施設形態の視点から明らかにすることを目的としたもの。
西南学院大学 人間科学部 社会福祉学科 教授 田中 康雄 氏
- 報告6 ▶ **表情による口腔機能の評価と、ブクブクうがいによる口腔機能改善プログラム開発**
高齢者の表情による口腔機能の評価が可能かを検証するもの。また、高齢者においても継続が可能な簡便な口腔機能改善方法として、日常生活に取り入れやすい口唇を閉じて頬を膨らませる1つの動作を繰り返す「ブクブクうがい動作」をプログラムとし、その効果を検証することを目的としたもの。
筑波大学 人間総合科学学術院 助教 辻 大士 氏
- 報告7 ▶ **高齢者施設において看取りを強化する終末期ケアの調査研究－介護保険三施設（特養・老健・小多機能施設）の看取りの実践から－**
介護老人福祉施設、介護老人保健施設、小規模多機能型居宅介護の施設の看取りの現状を明らかにし、職員の心理的負担を少なくし、利用者にとって尊厳ある死を迎えられる支援方法および、それぞれの施設において看取りケアを強化する要因を検討することを目的としたもの。
九州女子短期大学 こども健康学科 准教授 吉田 恭子 氏

介護人材対策委員会・JS次世代委員会

13:00～14:20 介護人材対策委員会プログラム

外国人介護人材の定着へ～成功や失敗を事例から学ぶ～

外国人介護人材を受け入れているものの、育成や定着等に課題を感じている施設に向けて、現場でのリアルな成功事例と失敗事例をもとに、支援体制の工夫やコミュニケーション方法など、すぐに活かせる実践的なヒントを共有します。

特別養護老人ホーム 青葉台さくら苑 人材対策室（外国人材教育担当） 守安 祐文 氏
特別養護老人ホーム ヒワサ荘 施設長 坂千代 雅之 氏
社会福祉法人 敬世会 法人本部 部長 草薙 貴光 氏
特別養護老人ホーム梅光園 施設長 宮内 絵美 氏
公益社団法人全国老人福祉施設協議会 介護人材対策委員会 副委員長 西丸 晴彦

14:40～16:00 JS次世代委員会プログラム

『チャットリ！大会議』～会場チャット質問型トークセッション～

LINEオープンチャット『チャットリ』を活用し、会場から事業運営上の質問や意見を受け付けます。それらをもとにJS次世代委員がトークセッションを展開し、課題解決につながるヒントを探ってまいります。また、プログラム終了後も課題解決のためのツールとして日常的にご活用いただけます。

公益社団法人全国老人福祉施設協議会 副会長 小泉 立志
公益社団法人全国老人福祉施設協議会 JS次世代委員会 委員長 原本 一
副委員長 土井 孝博
幹事 堀之内 康弘
他調整中

その他

12月4日～5日 9:00～17:00
1・2Fホワイエ・自由通路

介護機器展および外国人介護人材相談ブース

介護・福祉分野の様々な製品やサービスが出展する展示会、外国人材について相談ができるブースを設置いたします。

12月4日～5日 9:00～
1・2Fホワイエ・自由通路

ご当地物産・授産品販売

開催地・山口県にまつわる地域物産品コーナーをご用意しております。

12月4日 12:40～13:20
会議室201A/B・C
12月5日 12:10～12:50
会議室201A/205B・C

ランチョンセミナー

昨年度好評だったランチョンセミナーを今年度は4会場で開催予定。昼食時お弁当を食べながら賛助会員企業の講演を聴講できます。
※別途申込が必要です。

12月4日～5日 9:00～17:00
2Fホワイエ

介護作文・フォトコンテスト 展示会

今年で18回目の開催となった介護作文・フォトコンテスト。全国の介護施設のみならず一般の方からも多くの作品が送られています。心温まる作品や思わずクスッと笑ってしまう作品の数々をお楽しみください。
※介護作文については、要覧よりお楽しみください。

会場マップ

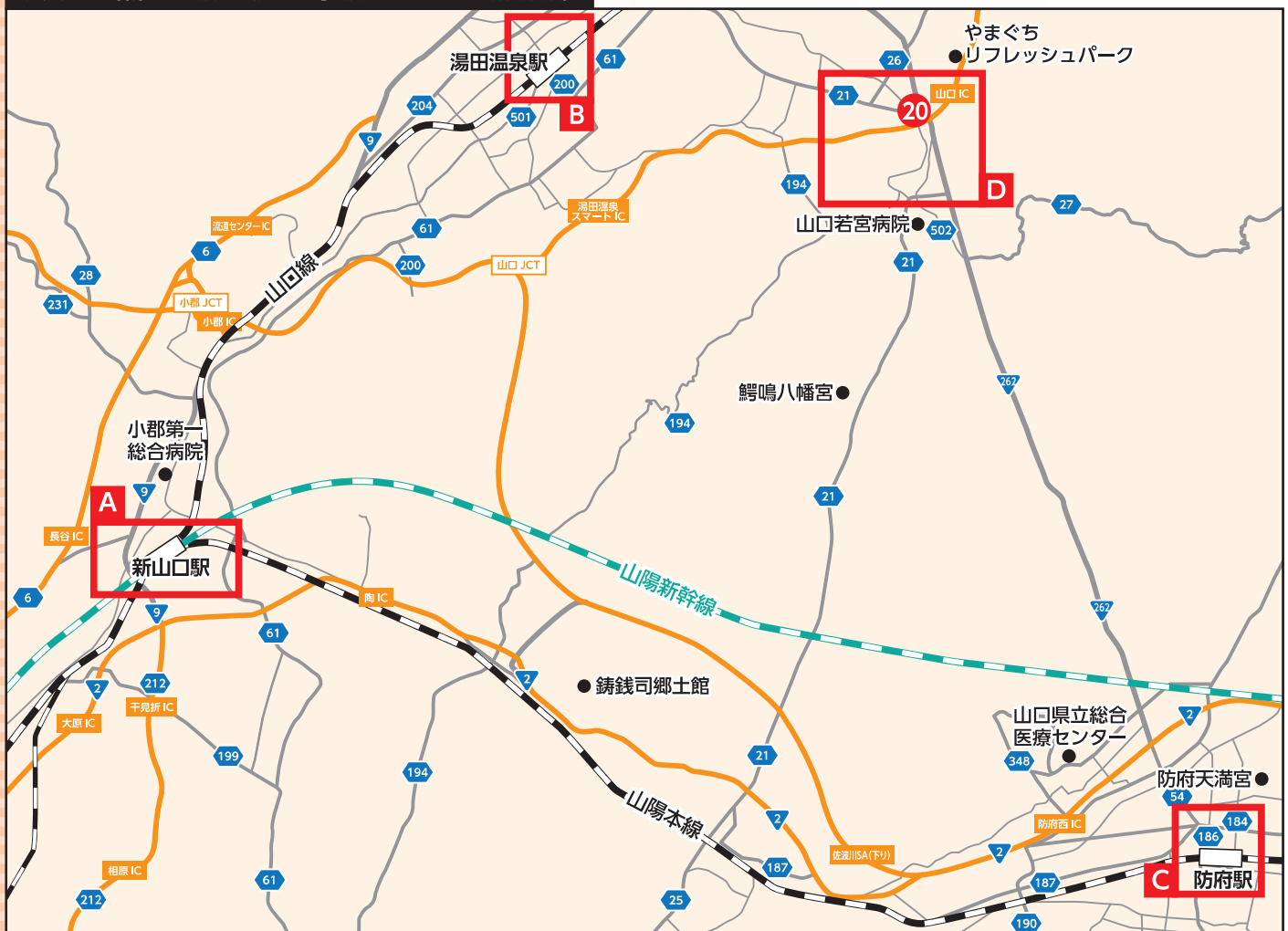
<会場までの交通手段>

	経由・所要時間	
新幹線利用の場合	東京駅 新山口駅／北口 (東海道新幹線<のぞみ>利用で約4時間20分)	新大阪駅 新山口駅／北口 (山陽新幹線<のぞみ>利用で1時間53分)
飛行機利用の場合	東京／羽田空港 山口宇部空港 会場／KDDI 維新ホール (約1時間40分) (大会シャトルバス／約30分)	

<全体会・分科会会場>

KDDI 維新ホール		
〒754-0041 山口県山口市小郡令和 1-1-1	TEL : 083-902-6727	<JR 新山口駅北口より徒歩2分>
山口グランドホテル (2日目／一部分科会)		
〒754-0021 山口県山口市小郡黄金町 1-1	TEL : 083-972-7777	<JR 新山口駅南口 (新幹線口) より徒歩2分>

広域図 (新山口駅…湯田温泉駅…山口 IC…防府駅)



A 新山口駅(北口)周辺 KDDI側 (初日全体会・2日目一部分科会)

地図番号	ホテル名	新山口駅北口より徒歩	会場まで徒歩
①	ホテルアクティブプレミア新山口	1分	1分
②	ホテル・アルファワン小郡	2分	2分
③	コンフォートホテル新山口	1分	3分
④	ロイヤルイン新山口駅前	1分	3分

A 新山口駅(南口)周辺 山口グランドホテル側 (2日目一部分科会)

地図番号	ホテル名	新山口駅南口より徒歩	会場まで徒歩
⑤	山口グランドホテル	2分	8分
⑥	ホテルアクティブ! 山口	1分	7分
⑦	東横 INN 新山口新幹線口	3分	9分
⑧	ホテルアムゼ新山口	3分	9分

A 会場・新山口駅周辺ホテル・大会シャトルバスのりば



B 湯田温泉駅周辺ホテル



C 防府駅前周辺ホテル



B 湯田温泉（山口市街地） ※大会シャトルバス <西エリア>

地図 番号	ホテル名	会場より 25 分	バスのりば まで徒歩
9	スーパーホテル山口湯田温泉	—	2 分
10	お宿 Onn 湯田温泉	バス発着	—
11	湯田温泉 ホテル喜良久	—	2 分
12	ビジネスホテル 富士の家	—	2 分

<東エリア>

地図 番号	ホテル名	会場より 25 分	バスのりば まで徒歩
13	湯田温泉 ビジネスホテルうえの	—	5 分
14	ホテルルートイン山口湯田温泉	バス発着	—
15	パルトピアやまぐち（防長青年館）	—	13 分

C 防府駅周辺 ※新山口まで JR 利用

地図 番号	ホテル名	新山口駅まで JR17 分	防府駅より 徒歩
16	ホテルルートイン防府駅前	—	南口 1 分
17	スーパーホテル防府駅前	—	北口 2 分
18	ホテルサン防府	—	北口 7 分
19	アパホテル山口防府	—	北口 9 分

D 山口 IC 付近 ※大会シャトルバス

地図 番号	ホテル名	会場より 25 分	バス乗り場
20	ホテル・アルファワン山口インター	バス発着	—

お申込み方法

STEP 1

下記のURL/ 検索 /QR コードから、
全国老人福祉施設協議会ホームページの
TOPページへアクセス

<https://www.roushikyo.or.jp>



STEP 2

QRコードからもアクセスできます ▼

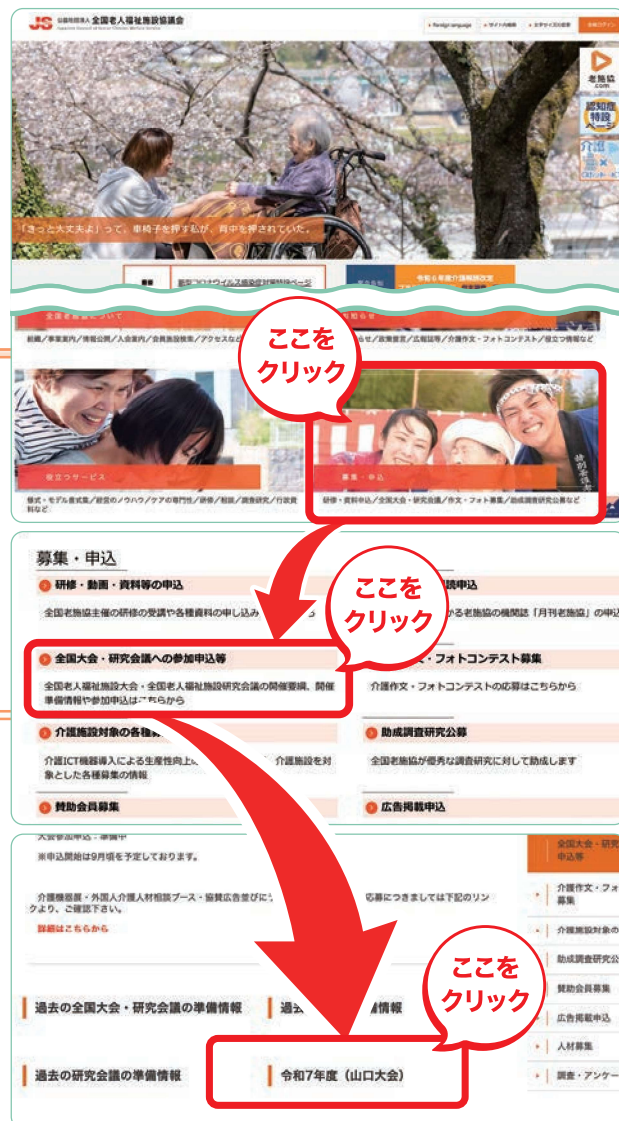
TOPページの「募集・申込」をクリック
して、「全国大会・研究会議への参加
申込等」を選択してクリックしてください。



STEP 3

「全国大会・研究会議の開催予定・参加申込
令和7年度(山口大会)」をクリックし、
大会特設ページ(9月上旬開設予定)へ
アクセス

<https://jsyamaguchi.net>



STEP 4

大会特設ページの参加申込ページよりお申し込みください。

申込受付期間

2025年9月1日13時～
(予定)

▶ 会場参加の方 11月26日まで
▶ オンデマンド参加の方 1月22日まで

STEP 5

お申し込み手続きを完了いただきましたら、受付完了メールをお送りいたします。
また、手続き完了時に、ご請求金額・お振込先を画面表示いたしますので、
期日までに参加費等をお振込みください。

STEP 6

期日までにお振込みを完了いただきましたら、振込完了メールをお送りいたします。
また、11月18日以降、参加のご案内(会場参加のためのQRコード、
動画視聴に関するご案内等)をメールにてお送りさせていただきます。
なお、領収証は、お申込みいただいた受付システムにてご自身で発行いただけます。

申込に関するお問い合わせはコチラ

株式会社サンケイ会館 大会・研究会議運営事務局

TEL 090-3130-6859 Mail sanka@jsyamaguchi.org

担当 高野・小此木・緒方

高齢者施設ケアマネジメント研修

言葉の力を信じるケアマネジメントの本質を学ぶ

大阪府内高齢者(入居)施設ケアマネジャー対象研修

2日間研修

11月21日(金) 9:50 ~ 16:30

11月28日(金) 10:00 ~ 16:30

会場：大阪社会福祉指導センター4階 研修室1 ※開場は9:20~です

希少な
府内施設ケアマネ研修!!

悩みや学びをグループで語り合い、
つながりができる!

仲間と一緒にアセスメントを考え
ケアプランを立ててみて、
日頃のモヤモヤが晴れるかも。

参加してみませんか?

～アセスメント力・ケアプラン作成力のレベルアップのために!～
【生活場面面接を用いた利用者理解とエンパワメント支援】

11/21(金)「施設利用者の生活の理解と個別ケアの視点を養う」

- ・インタビュー映像の視聴・演習(昨年と同じ事例)
- ・ナラティブ・ベースド・ケアとエビデンス・ベースド・ケアの関係性と実践

11/21(金)～11/28(金) ※課題：11月28日に向けて各自でケアプラン1表・2表を作成

11/28(金)「その人らしい生活を支援するアセスメントと施設ケアプランの作成に向けて」

- ・アセスメントとケアプランをいかに結びつけていくか
- ・共通事例での各自ケアプラン共有
- ・共通事例でのグループによるケアプラン作成

★グループで作成したケアプランを成果物として共有します

本研修の受講にあたり、研修内容の守秘義務に関する誓約書をご提出いただきます。予めご了承ください。
※誓約書は受講決定となった方に後日ご通知いたします。



講師 奥西 栄介 氏 (神戸学院大学総合リハビリテーション学部 教授)
演習 堤 省吾 氏 (高齢者総合福祉施設とりかい白鷺園 副施設長)
ファシリテーター 松尾 隆一 氏 (ミヤケ薬局居宅介護支援事業所 所長)
南 祐樹 氏 (高齢者総合福祉施設とりかい白鷺園 介護支援専門員)

参加者の声

エビデンスに基づく介護とナラティブに基づく介護の再認識が出来た、今後の支援に役立てたい。

インタビューで日常にも活かす事、また、他者にも伝えられるという意味で大変満足した。皆が持ち寄ったケアプランを1つにまとめることの大変さが印象的でした。

同じ方の情報や会話を聞いているのに、いろんな捉え方があり、プランにおとす基準や順番・表現方法があり新しい発見がありました。

ナラティブを意識することが印象的だった。したいことが実現できる、人生を知った上で作るプランには厚みが出ると思った。他のケアマネにも伝えていきたい。

利用者主体の生活の再建に向けて科学的介護や利用者の様子に合わせるニーズに対してどう向きあうのかとても勉強になりました。

施設ケアマネは居宅ケアマネと違い孤独な存在と思う。研修で他の施設の方とのつながりを持てる事もありがたく、このような研修を定期的にしてもらえれば嬉しい。

定員 30名 受講可否は締切後1週間以内にメールにて通知

受講料 10,000円 ※振込先は決定通知に記載

研修申込はこちら



申込締切 10月21日(火)

共催：(福)大阪府社会福祉協議会 老人施設部会

お問い合わせ

(福)大阪府社会福祉協議会 大阪福祉人材支援センター研修グループ TEL：06-6762-9035

(担当：赤松・長三・辻)

※感染症に限らず自然災害等により、研修が中止になる可能性があることを予めご了承ください

研修申込みされる皆様へ

大阪府社会福祉協議会
大阪福祉人材支援センター 研修グループ

研修にお申込みされるにあたってのお願い

大阪府社会福祉協議会 大阪福祉人材支援センター 研修グループでは、引き続き安心して皆様にご受講いただける環境を整えてまいります。研修に申込される皆様におかれましてもご協力くださいますようお願い申し上げます。

■安心できる受講環境のために

- ・各事業所におきましても、引き続きの感染対策をされていることと存じます。お互いに安心して研修に受講できるように、各自で感染対策をお願いいたします。
- ・本センターとしては、会場入口に消毒液を設置しておりますので、適宜ご利用ください。また、休憩時等、定期的な換気を行います。
- ・ゴミは、各自お持ち帰りいただきます。

なお、地震・台風等自然災害などにより、やむを得ず研修を中止または延期させていただく場合がございます。中止または延期の場合は、速やかにご連絡いたします。

第8回 吹田地区特別養護老人ホーム連絡協議会

実践報告会

～ 福祉の未来をもっと明るく !! 吹田から広げる情報発信 ～

令和7年 **11月22日** **土**

午後1時～午後4時

済生会吹田病院

東館 2F センターホール

(大阪府吹田市川園町1-2)



※病院内の駐車場は使用できませんので公共交通機関等でお越しください。



[主 催] 吹田地区特別養護老人ホーム連絡協議会

[後 援] 吹田市・吹田市社会福祉協議会

[問い合わせ先] いのこの里 TEL 06-6877-7020 あす～る吹田 TEL 06-6385-7070

～福祉の未来をもっと明るく!! 吹田から広げる情報発信～

この実践報告会は吹田地区特別養護老人ホーム連絡協議会が、連携・協働し、吹田市内の高齢者福祉の推進と介護の質の向上を目的に、地域貢献事業の一環として開催します。実践発表を通じて、要介護高齢者の福祉と暮らしを支える施設としての実践や取り組みを多くの方に知って頂き、これからの特別養護老人ホームに求められる役割を関係者のみなさまと一緒に考えていきたいと思ひます。ご参加お待ちしております。

タイムスケジュール

13:00～	開会
13:15～	基調講演
13:45～	実践報告1～3
14:30～	特別報告①
14:40～	休憩
14:50～	特別報告②
15:00～	実践報告4～6
15:45～	特別報告③
15:55～	審査発表・講評
16:00～	閉会

定員：120名（参加費無料）

定員に達し次第、締め切らせて頂きます。

内容：実践報告会（6施設より）

**基調講演：「介護・医療連携で担う健康未来社会
～吹田の未来共創～」**

社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会吹田医療福祉センター事務局長
済生会吹田病院 事務長 高元 信二郎 氏

**特別報告：淀商業高校福祉ボランティア科のみなさん
大阪保健福祉専門学校社会福祉科のみなさん
八尾市特別養護老人ホーム施設長会のみなさん**

▼下記の参加申込書に記入の上、FAXにてお申し込みください。

参加申込書

所属団体名	
連絡先（TEL 番号）	

※一般のご参加の方は上記は未記入で結構です。

No.	氏 名	職 種	備 考
1			
2			
3			
4			
5			

※記入欄が足りない場合は、恐れ入りますが用紙をコピーしてお申し込みください。

締切日：令和7年11月10日まで

申込先：あす～る吹田 FAX: **06-6385-7077**